

〈論 文〉

伊達地方のアイヌ語方言の言語的特徴<sup>(1)</sup>

佐藤 知 己

- 目次
1. はじめに
  2. 伊達地方のアイヌ語方言の音声、音韻
  3. 伊達地方のアイヌ語方言の文法
    3. 1. 平叙文
    3. 2. 否定文
    3. 3. 疑問文
    3. 4. 命令文
    3. 5. 人称代名詞と人称接辞
  4. 特に注目すべき現象
    4. 1. 継続を表す表現
    4. 2. わたり音挿入について
  5. 古文献に見える伊達地方のアイヌ語方言語彙について
  6. おわりに

参考文献

資料

テキスト1 「祈り」(亮昌寺資料)

テキスト1 注釈

テキスト1 索引

テキスト2 「祈り」(亮昌寺資料)

テキスト2 注釈

テキスト2 索引

テキスト3 「有珠山の噴火」(亮昌寺資料)

テキスト3 注釈

---

(1) 本稿は2007年10月13日に伊達市で行われた講演会「伊達地方のアイヌ語・アイヌ文化」において、「伊達地方のアイヌ語の文法的特徴」と題して行った講演が元になっている。その折り、伊達市教育委員会、伊達市噴火湾文化研究所の方々のお世話になった。記して感謝申し上げる。なお、本稿は平成19年度科学研究費(基盤研究(C))、「古文献によるアイヌ語史の構築」、研究代表者北海道大学大学院文学研究科佐藤知己、課題番号17520245)による研究成果の一部である。

テキスト3索引

テキスト4「外国船来航」(亮昌寺資料)

テキスト4注釈

テキスト4索引

テキスト5「外国船来航」(更科源藏氏録音資料)

テキスト5注釈

テキスト5索引

キーワード：アイヌ語、伊達方言、口承文芸テキスト

## 1. はじめに

伊達地方のアイヌ語方言については資料が極めて少ない。本稿では「伊達地方」を幾分拡大解釈して、志賀(1994)<sup>(2)</sup>が紹介している虻田町(現洞爺湖町)の故遠島タネランケ氏<sup>(3)</sup>の音声資料に基づいてこの地方のアイヌ語方言について簡単に紹介することにする。

## 2. 伊達地方のアイヌ語方言の音声、音韻

古い録音、しかもゆっくり丁寧な発音ではなくて、メロディーが付加された歌唱の資料による観察のため、詳細について断言できる段階にないが、概略的に言って、音声、音韻については、特に他のアイヌ語北海道諸方言と著しく異なる点はないようである。すなわち、5母音/i、e、a、o、u/、11子音/p、t、k、c、s、m、n、y、w、r、h/を立てれば良い<sup>(4)</sup>。なお、気の付いた点を述べれば以下のようなものである。

/su/はしばしば[ʃu]のように発音される。

例：kusu[kuʃu]「ので」(txt 3、1.43)<sup>(5)</sup>

---

(2) 志賀氏の作成したテキストは大変優れたもので、本稿も志賀氏の解釈に多くの点を負っている(参照箇所についてはその旨を明記した)。深く感謝申し上げる。また、貴重な資料を保存された虻田町亮昌寺に深甚なる敬意を表するとともに、現在の資料保管機関であるアイヌ民族博物館、同学芸員北原次郎太氏に音声資料の使用にあたり便宜をはかっていただいたことを深く感謝申し上げる。なお、話者遠島タネランケ氏のご遺族にも資料の研究、発表を認めていただいた。ここに記して感謝申し上げます。また、本稿では志賀(1994)が扱っていない更科源藏氏録音資料(テキスト5)も使用した。更科氏のご努力に敬意を表すると共に、この資料の存在をご教示下さった札幌大学教授本田優子氏、資料の使用を許可していただいた、所蔵機関の北海道開拓記念館に感謝申し上げます。ちなみに、更科氏資料については北海道開拓記念館編(1992)で解説されている。

(3) 遠島氏の詳しい経歴については不明の点が多い。志賀(1994:1)によれば昭和31年と思われる資料に69才と記録されているという。

(4) より厳密には、子音に関してはここで挙げたものの他に声門閉鎖音 /ʔ/ を立てる必要があるが、表記が煩瑣になるので特に必要な場合を除き省略する。

(5) 出典は付録のテキスト1～5の略号 txt 1～5で示す。1は行(line)の略号、その後の数字はテキストにおける行番号を示す。

suma [ʃuma]「石」(txt 3、1.99)

ちなみに、このような現象は千歳方言<sup>(6)</sup>では全くと言って良い程見られない。

wa 「～て」は n の後でしばしば ma に交替する。

例：kamuy nomi-an ma (<wa)「私は神に祈って」(txt 4、1.200)

(比較：hanaiwai an wa「花祭りがある」(txt 1、1.6))

/t/ で終わる語が wa 「～して」の前に来た時、[tuwa]のように発音される例がある。

例：wakka esat wa [esatuwa]「水が底をついて」(txt 4、1.208)

/r/ は /t/ の前で /t/ に交替する。

例：Usot (<Usor) ta nakka「ウシヨロでも」(txt 3、1.248)

/r/ は /r/ の前で /n/ に交替する。

例：run (<run) ruki wa「海水を飲み込んで」(txt 3、1.59)

/r/ は /n/ の前で /n/ に交替する。

例：nankon (<nankor) na「だろろうよ」(txt 5、1.95)

### 3. 伊達地方のアイヌ語方言の文法

以下ではごく簡単に主な点を述べる。基本的な点では他の方言と大きく異なる点はそれほどないようである。

#### 3. 1. 平叙文

主語＋自動詞

例：ekasi okay「長老がいる」(txt 1、1.32)

主語＋目的語＋他動詞

例：kamyasi utar wakka rura「異人達が水を運ぶ」(txt 4、1.167)

#### 3. 2. 否定文

否定副詞 *somo* を動詞の前に置く。

例：otkena patek *somo* kira na「首長だけが逃げなかった」(txt 3、1.79)

助動詞的形式 *somo ki* を動詞の後ろに置く。

例：nupuri opus *somo ki* na「山が噴火しない」(txt 3、1.333)

助動詞的形式 *somo ki* の前には否定の副助詞 *ka* が現れるのが普通。

例：kira *ka* *somo ki* no「逃げないで」(txt 4、1.68)

特殊な例として、否定副詞 *somo* が動詞語幹 *ye*「言う」に取り込まれて一語となった例がみられる。

(6) 筆者が観察したのは白沢ナベ氏による千歳方言の発音。

例：ku-somoye yakka 「私が言わなくても」 (txt 1、1. 27)

ruwe somo tap an で「～なのではない」という意味を表す。

例：arki-an ruwe somo tap an na 「私達は来たのではない」 (txt 4、1. 103)

(比較：肯定は ruwe ne である。例：sirepa ruwe ne 「着いたのだ」 (txt 4、1. 208))

### 3. 3. 疑問文

疑問文の例は非常に少ないので詳細は不明であるが以下のような例がある。

終助詞 ya を用いて疑問を表す。

例：nekon ne ki ya 「どうなるのか」 (txt 3、1. 200)

例：nekona ne ya 「どうか」 (txt 4、1. 132)

なお、nekona 「どう」の例はこの1例しかない。これに対し、nekon の例は3例ある。

副助詞 he を用いて疑問を表す。

例：wakka tura a-utasare kusu ene pirka ruwe he an 「水と私達は交換するから、良いのか」 (txt 4、1. 125)

he の例はこの例のみであり、今後も検討が必要と思われる。

### 3. 4. 命令文

二人称主格接辞を省略した命令形で命令を表す。

i-siknure wa i-korpare yan 「私を助けて下さい」 (txt 4、1. 139)

二人称主格+動詞+ nankon na で命令を表す。

aynu epunkine e-ki nankon na 「人間を見守ることをあなたはしなさいね」 (txt 1、1. 48)

itekke を命令文の前に置くと禁止の意味になる。

例：itekke i-ronnu ki no 「私達を殺さずに」 (txt 4、1. 119)

なお、itekke の例はこの例のみであり、音形についても疑問がある。あるいは etekke のような形である可能性もある。

### 3. 5. 人称代名詞と人称接辞

人称接辞としては次のような形式が認められる。

ku- 一人称単数主格 (口語)

例：ku-ye a itak 「私が言った言葉」 (txt 1、1. 45)

例：ku-rehe 「私の名前」 (txt 2、1. 29)

en- 一人称単数目的格 (口語)

例：e-ikoinkar wa en-kore kustap siran na 「～について見守って下さい」 (txt 2、1. 35)

e- 二人称単数主格

kamuy e-ne wa 「あなたは神様であって」 (txt 2、1. 7)

eci- 二人称複数主格

yaytupare eci-ki nankor 「注意をあなたたちしなさい」 (txt 3、1. 335)

a- 一人称単数 (複数) 他動詞主格 (雅語)

例: surku ay a-se ki wa 「毒矢を私は背負って」 (txt 4、1. 51)

例: ottena patek a-ekanhunara kor 「首長だけを私達は待ちつつ」 (txt 3、1. 84)

-an 一人称単数 (複数) 自動詞主格 (雅語)

例: onne-an kusu 「私は死んだので」 (txt 3、1. 339)

例: ra ta paye-an 「下に私達は行った」 (txt 4、1. 63)

i- 一人称複数目的格 (雅語) (単数の確実な例なし)

例: i-ronnu kusu 「私達を殺そうと」 (txt 4、1. 115)

1 人称単数主格/二人称単数目的格人称接辞

sake ari e-nomi-an na 「酒で私はあなたを祭るぞ」 (txt 2、1. 4)

知里(1974: 76-7)では、e-kore-an 「我汝に与ふ、我等汝に与ふ」という例をあげて胆振地方の雅語の形式であると説明している。

ちなみに、祈りのテキストでは一人称単数主格に口語の ku- 「私が」が用いられ、雅語の a- 「私が」は用いられていない。その一方で一人称目的格には口語の en- 「私を」、雅語の i- 「私を」の両方が現れている。

また、動詞の人称形の後に -ci という形式の現れた例があり、これは主語の複数を指すようである。出現条件、詳細な機能についてはなお検討が必要である。

例: iku-an-ci ayne 「私達は酒を飲んだあげく」 (txt 4、1. 203)

例: wakkaesat a-ki-ci ki wa 「水が底をつくことを私達はして」 (txt 4、109)

人称代名詞としては aokay 「私」(複数の意味にもなるかもしれないが不詳) という形式 (4 例、txt 4、1. 46、72、159、txt 5、1. 169) の他、anokay という形式も現れる (2 例、そのうち 1 例は anokay utar という例、txt 4、1. 48、98)。対応する人称接辞が一貫して a- であることを考慮すれば、anokay は他方言からの借用である可能性があるが、なお検討を要する。服部(1964:309)によれば八雲方言、幌別方言は aokay である<sup>(7)</sup>。ちなみに、筆者の調査では静内方言<sup>(8)</sup>では anoka、様似方言<sup>(9)</sup>では anokay である。

例: aokay anak a-un cise ta arki-an ma 「私は私の家に帰って」 (txt 4、1. 159)

例: anokay tasuy 「私こそ」 (txt 4、1. 48)

例: anokay utar 「私達」 (txt 4、1. 98)

(7) 便宜的にアクセント記号と声門閉鎖音を省略してある。

(8) 織田ステノ氏による。

(9) 岡本ユミ氏による。

## 4. 特に注目すべき現象

### 4. 1. 継続を表す表現

結果の継続を意味する形式として *wa okay* 「ている」(複数形、ただし対応する単数形の *wa an* の例なし) が用いられる。

例: *uhuy nicica emko ranke roske wa okay* 「燃えた木ぎれが半分ずつ立っていた」(txt 3、1. 145)

注目されるのは、この方言では、以下のように存在動詞 *okay* 「いる」(複数形) に *wa okay* 「ている」の付いた例がみられることである。

例: *repunkur cip kanci ratkire okay wa okay kaya ratkire okay wa okay* 「異国船がかじをおろしていた、帆を降ろしていた」(txt 4、1. 30)

ここで複数形が使われているのは *kanci* 「かじ」、*kaya* 「帆」が複数だから、とひとまずは考えておくことにする。問題はなぜ存在動詞 *okay* 「いる」にさらに *wa okay* 「ている」を付けて、いわば「いている」という形式になっているのか、という点である。佐藤(2007a:47-8)では千歳方言について、このような場合、*wa okay* は結果の継続ではなく、「一時的状態」を表すのではないか、という解釈を述べた。この例においても、船がかじを降ろすとか、帆を降ろす、というのは、船の恒常的な状態ではなく、明らかに一時的状態であるから仮説に従った例と言えるであろう。

一方、動作の継続には *kor okay* 「ている」という形式が用いられている。

例: *siruwante a-ki kor okay-an awa* 「見回すことを私はしていたが」(txt 3、1. 14)

この場合の *kor* は「つつ、ながら」を意味するものである(以下の例も参照)。

例: *ari sisam iki kor* 「と日本人がいつつつ」(txt 3、1. 182)

非常に興味深い例として、この方言では動作の継続を表す *kor okay* に、さらに結果の継続を表す *wa okay* が続く例がある。千歳方言ではこの種の表現の例はまだ見つかっていない。これまでのところ、他の方言における類似の事例も知られていないようである。この方言のユニークな特徴を示すものかもしれない。

例: *nupuri or un hosari kane nispa a wa kamuy koytak kor okay wa okay* 「山の方に向けて旦那さんが座って神に祈っていた」(txt 3、1. 167)

この例は、いわば、「祈っていた」とような言い方に当たるもので、日本語としては勿論おかしい表現になる。ここでなぜこのような表現を用いているのが問題である。例が少ないので、今後、他の資料による検証が必要であるが、ひとまず次のように考えることができる。*kor an* 「ている」は通常は動作の継続を意味するので、変化の結果を意味する *wa an* とは意味的に不適合を起すので、一般には共起できないと考えられる。しかし、この方言では、場合によっては *kor an* を「動作の継続」のみならず、「動作の継続の開始」という一種の変化(「動作の継続」という事態をまだ開始していない状態から開始した状態になる)を意味する形式としても使える、ということなのであろう。つまり、「祈りを開始した(がまだ祈り終わっていない)状態のまま」、「祈りに突入

した（まだ祈り終えていない）状態のまま」という意味を表していると考えられる。火砕流で灰になってもあたかもまだ生きている人のように自分を犠牲にして最後まで神への祈りをやめないでいた、という *ottena* 「首長」の悲壮な最期を極めて効果的に表現した鮮やかな表現、ということになるであろうか。他の資料に類似の例がないかどうか、今後の課題としたい。なお、この例の中に、*hosari kane* 「向きつつ」という表現があり、同じく「つつ」を表す *kor* と似た意味を表す *kane* という形式が用いられている。例が少ないので確定的なことは言えないが、佐藤(2004a:111)で指摘されているように、このような *kane* は単純な付帯状況というよりは、感情的な、オーバーなニュアンスを含んだ表現ではないかと考えられる。つまり、*ottena* 「首長」が意図して山の方を正確に向いていたかどうかは別として、「(実際はともかく) 山に向かって真っ正面に向いたまま微動だにせず」という感じを表している可能性がある。単純な様態を表す *wa* 「て」を用いるよりも、*ottena* の真摯さ、悲壮さをここでも効果的に表現しているとみることができる。これらはいずれも、この話者のテキストが、アイヌ語の微妙な表現を駆使した、大変すぐれたものであることを窺わせるに足りるものと言える。

#### 4. 2. わたり音挿入について

佐藤(2004b:14-7)は、同じく胆振地方の方言の資料である『アイヌ神謡集』について、これまで知られていない興味深い事実を明らかにしている。ごく簡潔に述べれば、接辞 *i-* 「私を、ものを」に後ろに母音で始まる語が続く場合、意味のない *y* という音が挿入されるが、接辞 *si-* 「自分を」に母音で始まる語が続く場合には *y* が挿入されない、という規則がある。これに対し、千歳方言では、*i-*、*si-* の後に母音で始まる語が続く場合は規則的に *y* が挿入される。それでは、伊達地方の方言ではどうなのであろうか。これも例が少ないし、古い録音資料であるので確定的なことは言えないが、傾向としては『アイヌ神謡集』と同じ状況を示していると言ってよい。従って、『アイヌ神謡集』が示している現象は、少なくとも近隣の胆振方言である伊達地方の方言の音声資料と大きく矛盾しない、ということが言える。

*i-* の後に *y* が挿入される例

例：*i-y-eyoko yakka* 「私達を狙っても」(txt 4、1. 117)

例：*i-y-onuytasa kewtum a-somokor na* 「それにお返しする気持ちを私達は持たない」(txt 4、1. 118)

例：*i-y-oyamokte* 「物事を不審に思う」(txt 3、1. 11)

例：*i-y-okunnureci* 「物事にあきれる」(txt 3、1. 176)

*si-* の後で *y* が挿入されない例

例：*a-si-ekimatekka* 「私は脅かした」(txt 4、1. 91)

例：*si-etu-uk a* 「何度も鼻を押さえた」(txt 3、1. 175)

言うまでもなく例の絶対量が少ないが、少なくとも今のところはこの点において伊達地方の方言

は幌別方言と深い類似性を持つ可能性があると言える<sup>(10)</sup>。

## 5. 古文獻に見える伊達地方のアイヌ語方言語彙について

最後に、音声資料以外の資料について触れる。伊達地方のアイヌ語方言に関する貴重な資料として、有珠善光寺が所蔵するアイヌ語資料がある。それらのうち、有名な「念仏上人子引歌」について、気の付いた点を一つあげておきたい。

「蟬の抜け殻」を意味する語として、「シセイペレ」という語が用いられている（ヤアキシセイペレヲシヨラコラチ *yaki siseypere osura koraci* 「せみが抜け殻を捨てるように[来世へ成仏する]）。しかし、この語を名詞と見る文法的な根拠はなく、アイヌ語の語形成規則には反するものと考えられるので、厳密には誤訳の可能性がある。しかし、*siseypere* という形式そのものは、「(努力せず、自然に) 自分の殻を破る」という意味の形式としては正しいと思われる。si- は主語が間接的にしか行為に関与しない場合に用いられる、「間接的再帰」と呼ばれる形式なので（佐藤 2007 b）、昆虫や動物が脱皮する有様が、いわば「自力ではなく、自然（神?）の力が出てくる」と表現していることになるであろうか。周辺の語彙で日常的な語彙ではないが、アイヌ語の文法手段を巧みに用いた語と言えるのではないだろうか。

## 6. おわりに

今回は亮昌寺資料、更科源藏氏資料のうち、一部しか分析することができなかった。今後、資料全体の分析を通してここで行った分析を再度見直す必要があることは勿論である。難解の箇所が少なくなく、正直、筆者の能力では不明とせざるを得ない点が多く残ったのは残念である。今回扱った資料は口承文芸的に見ても、あるいは史実に関わる口承資料としても興味深い形式、内容を含むものであるが、言語に関して概略的な考察を行うのが精一杯で、内容に深く立ち入ることができなかった。今後も検討を続けると共に識者のご教示、ご研究をお待ちする次第である。

言語面に限って言えば、今後、幌別方言をはじめとする近隣方言との異同を細かく検討することが必要であろう。また、既にある程度知られているアイヌ語諸方言全体の中での伊達地方のアイヌ語方言の位置付けについても、詳しく検討する必要がある。将来的な課題としてさらに研究を進めて行きたいと考えている。

---

(10) 実際には *arki-an* が [*arikijan*] のように発音されている例もあり [txt4, l. 210]、メロディーのない音声資料を発見してさらに観察する必要がある。



## 参考文献

- Batchelor, J. (1938), *An Ainu-English-Japanese Dictionary* (4th edition:Tokyo, Iwanami Shoten)
- 仏彦 (1832), 『念仏上人子引歌』(有珠善光寺)
- 知里真志保 (1974), 『知里真志保著作集』 4 (平凡社)
- 服部四郎編 (1964), 『アイヌ語方言辞典』(岩波書店)
- 北海道開拓記念館編 (1992), 『更科源藏氏資料目録』(北海道開拓記念館)
- 金成マツ (1966), 『アイヌ叙事詩ユーカラ集』 6 (三省堂)
- 萱野茂 (1996), 『萱野茂のアイヌ語辞典』(三省堂)
- 久保寺逸彦 (1992), 『アイヌ語・日本語辞典稿』(北海道教育委員会)
- 増田又喜 (1996), 『アイヌ歌謡を尋ねて』(近代文芸社)
- 永田方正 (1984), 『北海道蝦夷語地名解』(草風館)
- 中川裕 (1995), 『アイヌ語千歳言辞典』(草風館)
- 佐藤知己 (2004 a), 『古文文献によるアイヌ語諸方言の比較研究』(北海道大学大学院文学研究科)
- \_\_\_\_\_ (2004 b), 「知里幸恵『アイヌ神謡集』の難読箇所と特異な言語事例をめぐって」『北海道立アイヌ民族文化研究センター研究紀要』10, 1-32
- \_\_\_\_\_ (2006), 「アイヌ語千歳方言のアスペクト」『北海道立アイヌ民族文化研究センター研究紀要』12, 43-67
- \_\_\_\_\_ (2007a), 「アイヌ語のアスペクトと日本語のアスペクトの対照」『日本語学』26 (3), 44-52
- \_\_\_\_\_ (2007b), 「アイヌ語千歳方言の再帰接頭辞 *yay-* と *si-* について」『認知科学研究』5 (室蘭認知科学研究会), 31-9
- 志賀雪湖 (1994), 「遠島タネ媪の伝承—亮昌寺アイヌ語音声資料」『アイヌ民族博物館研究報告』4, 1-48
- 田村すず子 (1996), 『アイヌ語沙流方言辞典』(草風館)
- 吉田巖 (1915), 「アイヌ語会話篇4」『人類学雑誌』13 (10), 387-91

## 資料

明らかに日本語と思われるものや特定の形式に該当しないと思われる音声は原則として索引には載せていない。また、同音異義の形式も十分区別できていない点がある。なお、不明の箇所が多く、以下の解釈も仮のものであることをお断りしておく。

[テキスト1] 「祈り」(亮昌寺資料)

- |  |                             |
|--|-----------------------------|
| 1 : kanto or un kamuynomi (するからね。聞いていて。) | 18 : e-koinkar wa           |
| 天にお祈りする                                  | あなたは見て                      |
| 2 : ha(?)                                | 19 : tumasnuno              |
| (?)                                      | 丈夫に                         |
| 3 : sonno                                | 20 : nep monrayke           |
| 本当に                                      | どんな仕事                       |
| 4 : Aputa kotan                          | 21 : iki yakka              |
| 虻田の村                                     | であっても                       |
| 5 : tanto ot ta                          | 22 : epetciwsakno           |
| 今日                                       | 支障なく                        |
| 6 : hanaiway an wa                       | 23 : oromapciwsakno(?)      |
| 花祭り(?)があるので                              | (?)                         |
| 7 : pon sake                             | 24 : monrayke koana(?)      |
| わずかな酒                                    | 仕事をしなさい(?)                  |
| 8 : e-enomi-an na.                       | 25 : kotemusi sanano(?)     |
| で私はあなたを祭るよ。                              | (?)                         |
| 9 : pirkasikan                           | 26 : sake turano            |
| よくよく                                     | 酒とともに                       |
| 10 : tane aynu hene                      | 27 : e-nomi-an ko           |
| 今や人間でも                                   | 私がお前を祭れば                    |
| 11 : Aputa kotan                         | 28 : kamuy e-ne yam(?)      |
| 虻田の村                                     | お前は神様になって(?)                |
| 12 : koyayramkote                        | 29 : e-eyaykamuynere tap an |
| 心にかける(?)                                 | あなたは神様になるのだ                 |
| 13 : aynu mosir                          | 30 : ku-ye a itak           |
| アイヌの国                                    | 私が言った言葉                     |
| 14 : sisam kuni                          | 31 : husko ne i(?)          |
| 日本の国                                     | (?)                         |
| 15 : nisasuno                            | 32 : ekasi okay             |
| 無事に                                      | 長老がいた                       |
| 16 : pirkasikan                          | 33 : nispa okay ko          |
| よくよく                                     | 旦那がいると                      |
| 17 : cisokunakka(?)                      | 34 : tan huci epun(?)       |
| (?)                                      | (?)                         |
|  | 35 : e-nomi-an ko           |
|  | 私があなを祭れば                    |

36 : e-eyayrenka p ne a korka  
あなたが喜ぶことであったが

37 : tane anakne  
今は

38 : sinrit anak(?)  
(?)

39 : ku-ne siri  
私があるので有様

40 : Aputa kotan ta  
虻田の村に

41 : ku-siknu yakka,  
私は暮らしているけれど

42 : ku-siknu yakka  
私は暮らしているけれど

43 : sake  
酒

44 : e-enomi-an na  
で私はあなたを祭るぞ

45 : ku-ye a itak  
私が言った言葉を

46 : e-nu koraci  
あなたは聞いたとおり

47 : pirkasikan  
よくよく

48 : aynu epunkine e-ki nankon na.  
人間を見守って下さい。

49 : ha nnnn

[テキスト1] 注釈

2 : ha の後、聞き取り不能。

6 : 「花祝い」で、「花祭り」のことを指すのであろうか。もっとも、一般的な国語辞書類には出ていないようである。

9 : pirkasikan は不明の形式だが、「よく」という意味の副詞であろうか。txt 1、txt 2 以外では、txt 5、1.252 に一度だけ現れる。例：pirkasikan a-nu rusuy wa 「よく私は聞きたくて」。なお、千歳方言には rayoksikan 「念を入れて、しっかりと」という副詞があり、関係がある可能性がある。また、小川正人氏の御教示により、帯広市図書館蔵「吉田巖遺稿資料」中に「あいぬ語をり、草」という文書があることを知り、目を通して見たところ、長万部の司馬力作氏の記録された祈りのテキストの中に「ピリカシカン ヨイトコロ」という記載があることを見出した。恐らく同一の形式と思われ、今後、さらなる検討が必要である。

12 : koyayramkote のように聞こえるが不詳の形式。Batchelor (1938 : 569) には「yairamkote 再婚スル」とあるので、「心に思う」のような意味

と考えて訳を付けたが要検討。

14 : kuni と聞こえるが不詳。日本語の「国」か。

17 : 不詳。cise ne yakka 「家でも」のような形式かもしれない。

23 : 不詳。要検討。

24 : koana は不詳。他の可能性も含め要検討。

25 : 不詳。他の可能性も含め要検討。

28 : yam は不詳。

31 : ne i は不詳。他の可能性も含め要検討。

34 : 不詳。他の可能性も含め要検討。

36 : 久保寺 (1992 : 74) には「eyairenka なつかしく声をかけて歓送する」、とあるので仮にこのように訳したが、要検討。

38 : うまく聞き取れない。他の可能性も含め要検討。

41 : 42との間に少し休止がおかれている。

49 : nnn と表記したが、咳払いのような音声である。

[テキスト1] 索引

a	(3)	30, 36, 45	nankon	(1)	48
-an	(4)	8, 27, 35, 44	ne	(4)	28, 31, 36, 39
an	(2)	6, 29	nep	(1)	20
anakne	(1)	37	nisasnuno	(1)	15
Aputa	(3)	4, 11, 40	nispa	(1)	33
aynu	(3)	10, 13, 48	nmnn	(1)	49
e-	(10)	8, 18, 27, 28, 29, 35, 36, 44, 46, 48	nomi	(2)	27, 35
ekasi	(1)	32	nu	(1)	46
enomi	(2)	8, 44	okay	(2)	32, 33
epetciwsakno	(1)	22	or	(1)	1
epunkine	(1)	48	oromapciwsakno	(1)	23
eyaykamuynerere	(1)	29	ot	(1)	5
eyayrenka	(1)	36	p	(1)	36
ha	(2)	2, 49	pirkasikan	(3)	9, 16, 47
hanaiway	(1)	6	pon	(1)	7
hene	(1)	10	sake	(3)	7, 26, 43
husko	(1)	31	siknu	(2)	41, 42
i	(1)	31	siri	(1)	39
iki	(1)	21	sisam	(1)	14
itak	(2)	30, 45	sonno	(1)	3
kamuy	(1)	28	ta	(2)	5, 40
kamuynomi	(1)	1	tane	(2)	10, 37
kanto	(1)	1	tanto	(1)	5
ki	(1)	48	tapan	(1)	29
ko	(4)	24, 27, 33, 35	tumasnuno	(1)	19
koinkar	(1)	18	turano	(1)	26
koraci	(1)	46	un	(1)	1
korka	(1)	36	wa	(3)	6, 18, 28
kotan	(3)	4, 11, 40	yakka	(3)	21, 41, 42
koyayramkote	(1)	12	ye	(2)	30, 45
ku	(5)	30, 39, 41, 42, 45			
kuni	(1)	14			
monrayke	(2)	20, 24			
mosir	(1)	13			
na	(3)	8, 44, 48			

## [テキスト 2] 「祈り」(亮昌寺資料)

- |   |   |
|---|---|
| 1 : kanto ot ta<br>天の                             | 18 : pirkasikan<br>よくよく                         |
| 2 : pase kamuy<br>偉い神よ                            | 19 : i-koinkar wa i-kore ki yan.<br>私達を見守って下さい  |
| 3 : kamuy ekasi<br>神の長老よ                          | 20 : e-nomi-an na.<br>私はあなたを祭るぞ                 |
| 4 : sake ari e-nomi-an na.<br>酒で私はあなたを祭るぞ         | 21 : sake ari, tane anakne<br>酒で今や              |
| 5 : pirkasikan<br>よくよく                            | 22 : ekasi ka isam<br>長老もいない                    |
| 6 : kanto or wa<br>天から                            | 23 : nispa utar isam.<br>旦那方もいない                |
| 7 : kamuy e-ne wa<br>あなたは神様になって                   | 24 : ku-rekor katu<br>私の名は                      |
| 8 : aynu hene<br>アイヌでも                            | 25 : Taneranke ne na.<br>タネランケであるのですよ           |
| 9 : sisam hene<br>日本人でも                           | 26 : kamuy ekasi,<br>神の長老よ                      |
| 10 : kurkasike<br>その上を                            | 27 : ku-somoye yakka<br>私が言わなくても                |
| 11 : e-uwanpare<br>お前が見守る                         | 28 : e-eraman pe<br>あなたがわかるものが                  |
| 12 : wen kewtum kor pe<br>悪い精神を持つ者は               | 29 : ku-rehe ne nankor yakka,<br>私の名前なのでしょうけれども |
| 13 : koraci koraci<br>そのように                       | 30 : ku-ye hawe tapan na.<br>私は言うのですよ。          |
| 14 : pirka kewtum kor pe koraci<br>良い精神を持つ者はそのように | 31 : pirkasikan<br>よくよく                         |
| 15 : kaske wano<br>上から                            | 32 : aynu hene<br>アイヌでも                         |
| 16 : e-eraman na.<br>あなたはわかって下さい                  | 33 : sisam hene<br>日本人でも                        |
| 17 : kan ta(?) kamuy ekasi<br>神の長老                | 34 : nisasnuno monrayke kuni ne<br>無事に働くように     |

35 : e-ikoinkar wa en-kore kustap siran na, kamuy ekasi,

あなたが見守って下さいよ。神の長老よ

36 : pirkasikan

よくよく

37 : epunkine

見守ること

38 : kotan epunkine

村を見守ること

39 : mosir epunkine

国を見守ることを

40 : en-kore kustap siran na.

して下さいよ

41 : kamuy ekasi

神の長老よ

### [テキスト2] 注釈

最初に pa という言いよどみがある。

3 : kamuy ekasi という形式は、家の守り神（の御幣）を指す地方がある（様似方言、岡本ユミ氏による）。ここでも家の守り神を指してい

る可能性がある。

keytum のようにも聞こえる。

17 : kan ta はうまく聞き取れない。他の可能性も含め要検討。

### [テキスト2] 索引

-an (2) 4, 20

an (1) 30

anakne (1) 21

ani (1) 22

ari (2) 4, 21

aynu (2) 8, 32

e- (7) 4, 7, 11, 16, 20, 28, 35

ekasi (6) 3, 18, 22, 26, 35, 41

en- (2) 35, 40

ene (1) 22

epunkine (3) 37, 38, 39

eraman (2) 16, 28

euwanpare (1) 11

hawe (1) 30

hene (4) 8, 9, 32, 33

i- (2) 19, 21

ikoinkar (1) 35

isam (2) 22, 23

ka (1) 22

kamuy (7) 2, 3, 7, 17, 26, 35, 41

kanto (3) 1, 6, 17

kaske (1) 15

katu (1) 24

kewtum (2) 12, 14

ki (1) 19

koinkar (1) 19

kor (2) 12, 14

koraci (3) 13, 13, 14

kore (3) 19, 35, 40

kotan (1) 38

ku- (4) 24, 27, 29, 30

kuni (1) 34

kurkasike (1) 10

kustap (2) 35, 40

monrayke (1) 37

mosir (1) 39

na (7) 4, 16, 20, 25, 30, 35, 40

nankor (1) 29

ne (4) 7, 29, 32, 34

nisasnuno (1) 34

nispa (1) 23

nomi (1) 20

or	(1)	6	ta	(2)	1, 17
ot	(2)	1, 17	tane	(1)	21
pase	(1)	2	Taneranke	(1)	25
pe	(3)	12, 14, 31	tap	(1)	30
pirka	(1)	14	utar	(1)	23
pirkasikan	(4)	5, 18, 31, 36	uwanpare		11
rehe	(1)	30	wa	(4)	6, 7, 19, 35
rekor	(1)	24	wano	(1)	15
sake	(2)	4, 21	wen	(1)	12
siran	(2)	35, 40	yakka	(2)	27, 29
sisam	(2)	9, 33	yan	(1)	21
somoye	(1)	27	ye	(1)	33

## [テキスト3]「有珠山の噴火」(亮昌寺資料)

- |                     |                           |
|---------------------|---------------------------|
| 1 : eyererope       | 13 : nupuri or un         |
| 2 : sihuskotoywano  | 山へ                        |
| 本当の昔から              | 14 : siruwante            |
| 3 : cimore usike    | 警戒することを                   |
| 静かな場所               | 15 : a-ki kor okay-an awa |
| 4 : cimore kotan    | 私はしていたが                   |
| 静かな村を               | 16 : tane anakun          |
| 5 : a-kor a korka   | 今や                        |
| 私は治めていたが            | 17 : tu owan kesto        |
| 6 : nekon ne kusu   | 二十日                       |
| どうしてか               | 18 : re owan kesto        |
| 7 : sinean to ta    | 三十日と                      |
| ある日                 | 19 : sirsimoye            |
| 8 : sineani wano    | 地震が                       |
| ある時から               | 20 : ki kustap ne         |
| 9 : ha sirsimoye    | 起こったのだった                  |
| 地震が起こった             | 21 : ha a-kirare          |
| 10 : simoye kasu    | 私は逃がした                    |
| 揺れがひどい              | 22 : a-kotanu uyru p      |
| 11 : iyoyamokte     | 私の村に住む者                   |
| 不審に思うことを            | 23 : hekattar neya        |
| 12 : a-ki kustap an | 子供でも                      |
| 私はした                |                           |

- |   |   |
|---|---|
| 24 : hutci neya<br>老婆でも                               | 43 : kirarpa somo ki p ne kusu<br>逃げなかったものだから |
| 25 : ekasi hene<br>老人でも                               | 44 : epittano<br>皆                            |
| 26 : a-kirapare<br>私は逃がした                             | 45 : ciarustekka<br>消滅してしまった                  |
| 27 : ru okake ta<br>その後                               | 46 : kotan oha wa oarar isam<br>村が空になってしまった   |
| 28 : rametok patek<br>勇敢なものだけ                         | 47 : ha Aputa kotan or wa<br>虻田の村から           |
| 29 : okay-an awa<br>私は残っていたが                          | 48 : kirarpa p anak<br>逃げた者は                  |
| 30 : a-kirare kusu a-ye ciknaka(?)<br>私が逃げるように言っても(?) | 49 : nisapno<br>突然                            |
| 31 : kirarpa ka somo ki no okay rok hine<br>逃げずにいたが   | 50 : cikimatekka<br>慌てて                       |
| 32 : ayakannata<br>恐ろしや                               | 51 : atuy or un terke<br>海へ飛び込んだ              |
| 33 : annoski wano<br>夜中から                             | 52 : sapakouhuy<br>頭に火が付いた                    |
| 34 : opus nupuri opus apehe<br>噴火した山の噴火の火が            | 53 : ki rok ine<br>そうして                       |
| 35 : ciranaranke katu<br>下って来た有様は                     | 54 : atuy asama<br>海の底に                       |
| 36 : Aputa kotan<br>虻田の村が                             | 55 : korawoterke<br>潜って                       |
| 37 : a-uska rasio(?)<br>消滅させられたらしい(?)                 | 56 : u sirki yakkay<br>そうしたけれども               |
| 38 : Aputa kotan inenekorka(?)<br>虻田の村も(?)            | 57 : inunukaske<br>哀れ                         |
| 39 : usar mosir(?)<br>(?)                             | 58 : atuy ruki rok ine<br>海(水)を飲んだあげく         |
| 40 : a-arustekka<br>消滅させられた                           | 59 : run ruki wa<br>海水を飲んで                    |
| 41 : sine aynu ka<br>一人の人間も                           | 60 : epittano<br>皆                            |
| 42 : sine usi ka<br>一匹の牛も(?)                          | 61 : honkopittarane<br>腹が膨れた                  |



- |  |   |
|--|---|
| 62 : u kesto kane sirki ayne<br>毎日そうして | 81 : ha kesto kane<br>毎日                  |
| 63 : u kunne rerko<br>三晩               | 82 : kira p koraci<br>逃げた者と同様             |
| 64 : u tokap rerko<br>三日               | 83 : usa siramsuye<br>色々と思案した             |
| 65 : sirki ayne<br>そうしてついに             | 84 : ottena patek<br>首長のことばかり             |
| 66 : tokap rerko<br>三日                 | 85 : a-ekanhunara kor<br>私は気遣いつつ          |
| 67 : noiwan rerko<br>十八日               | 86 : u siran yakka<br>そうしても               |
| 68 : kunne rerko<br>三晩                 | 87 : ko ney wa ek humi ka<br>どこから来る様子も    |
| 69 : noiwan rerko<br>十八日               | 88 : oararisam<br>全くなかった                  |
| 70 : u sirki ayne<br>そうしてついに           | 89 : usa sisam hene<br>日本人も               |
| 71 : Aputa nakka<br>虻田も                | 90 : aynu hene<br>アイヌ人も                   |
| 72 : a-arustekka<br>消滅させられた            | 91 : Hurenay uyru p<br>フレナイに住む者は          |
| 73 : u rapoke ta<br>その間に               | 92 : epittano<br>皆                        |
| 74 : Aputa kotan<br>虻田の村               | 93 : ukirarpare wa oararisam<br>逃がされてしまった |
| 75 : Hurenay kotan<br>フレナイの村           | 94 : Aputa kotan<br>虻田の村は                 |
| 76 : esapane<br>の頭である                  | 95 : nupuri or wa san<br>山から下った           |
| 77 : ottena ne awa<br>首長であるが           | 96 : usey wakka<br>熱い水が                   |
| 78 : ottena patek<br>首長だけが             | 97 : kotan epitta<br>村が全部                 |
| 79 : somo kira na<br>逃げなかった            | 98 : horutu ayne<br>流れてとうとう               |
| 80 : a-oyamokte<br>私は不審に思った            | 99 : suma turano<br>石と共に                  |

- |  |   |
|--|---|
| 100 : ape ran ayne<br>火が下ってついに                   | 119 : ek humi ka oararisam<br>来る様子も全くない                 |
| 101 : kotan epitta<br>村が全部                       | 120 : u siran ayne<br>そうしたあげく                           |
| 102 : a-wente wa<br>破壊されて                        | 121 : Aputa kotan<br>虻田の村が                              |
| 103 : oararisam<br>しまった                          | 122 : a-arustekka<br>消滅させられてしまった                        |
| 104 : oro ta kayki<br>そこでも                       | 123 : ray pe utar<br>死んだ者達が                             |
| 105 : kirarpa p hene<br>逃がした者も                   | 124 : ota peka<br>浜に                                    |
| 106 : cisrimimse<br>危急の叫びをあげた                    | 125 : honi pittarane<br>腹が膨れている                         |
| 107 : ap(?)<br>(?)                               | 126 : wakka ruki rok ine<br>水を飲み込んだあげく                  |
| 108 : ha Hureray<br>フレナイの                        | 127 : honi pittarane<br>腹が膨れている                         |
| 109 : esapane<br>頭である                            | 128 : emko uhuy emko uhuy rat(?)<br>半分燃えて半分燃えて          |
| 110 : ottena<br>首領                               | 129 : ha i na siknu ike kouyatte ayne<br>まだ生きているのはこうやって |
| 111 : patek tap ne siri(?)<br>だけが                | 130 : ota ka<br>浜の上に                                    |
| 112 : ko ney ta siknu usi anakne<br>どこかに生きている場所は | 131 : esik ki na<br>一杯になっていた                            |
| 113 : a-eranpewtek kusu<br>私はわからないので             | 132 : sirki ayne<br>そうしたあげく                             |
| 114 : aynu hene<br>アイヌも                          | 133 : Usor kotan<br>有珠の村                                |
| 115 : okayo hene<br>男も                           | 134 : anakne<br>は                                       |
| 116 : u cisrimimse<br>危急の叫びをあげた                  | 135 : to herepasi<br>ずっと沖に                              |
| 117 : u haw as yakka<br>そうであっても                  | 136 : atuykowente<br>海で破壊され                             |
| 118 : ko ney wa take(?)<br>どこからも                 | 137 : atuykouhuyka oararisam<br>海で燃やされ、なくなってしまった        |

- |  |                                  |
|--|----------------------------------|
| 138 : sine cise ka oararisam<br>一軒の家もなくなってしまった | 157 : u Pepe kotan ta<br>弁辺の村に   |
| 139 : ha nupuri oka<br>山がある                    | 158 : kira sisam hene<br>逃げた日本人も |
| 140 : osettepicko(?)<br>(?)                    | 159 : aynu hene<br>アイヌ人も         |
| 141 : inkar-an ciki<br>私が見ると                   | 160 : hosippa<br>戻って来た           |
| 142 : ene siran i<br>こういう様子だった                 | 161 : tunpis hosipi<br>二人戻り      |
| 143 : cise ni utar<br>家の木々が                    | 162 : renpis hosipi<br>三人戻り      |
| 144 : epitta anuhu(?)<br>皆(?)                  | 163 : u sirki ayne<br>そうしたあげく    |
| 145 : uhuy nicica<br>焼けた小枝が                    | 164 : Hurenay kotan<br>フレナイの村の   |
| 146 : emko ranke<br>半分ずつ                       | 165 : esapane ottena<br>頭である首領が  |
| 147 : roske wa okay<br>立っていた                   | 166 : upakitara<br>依然として         |
| 148 : uhuy wa isam pe ka<br>燃えてしまったものも         | 167 : nupuri or un<br>山の方を       |
| 149 : okay kane<br>あって                         | 168 : hosari kane<br>向いて         |
| 150 : u siran ayne<br>そうしたあげく                  | 169 : nispa a wa<br>旦那さんが座って     |
| 151 : orsetakko<br>永い間                         | 170 : kamuykoitak kor<br>神に祈って   |
| 152 : sirki ayne<br>そうしたあげく                    | 171 : okay wa okay<br>いるままで      |
| 153 : ayakannata<br>恐ろしや                       | 172 : u aynu hene<br>アイヌ人も       |
| 154 : ayakannata<br>恐ろしや                       | 173 : u sisam hene<br>日本人も       |
| 155 : tane anakun<br>今や                        | 174 : siparuk a<br>思わず口を押さえ      |
| 156 : sinritatekko(?)<br>(?)                   | 175 : sietuuk a<br>思わず鼻を押さえた     |

- |   |  |
|---|--|
| 176 : iyokunnureci<br>驚きあきれた                | 195 : rorunpe okari<br>お祓いの行進をまわりで         |
| 177 : samake ta<br>側に                       | 196 : rorunpe ki kor<br>お祓いの行進をしながら        |
| 178 : u paye ki wa<br>行って                   | 197 : u cis tap tasuy<br>泣いた               |
| 179 : ha sisam ne ike(?)<br>日本人であるものが       | 198 : u hawarayne(?)<br>(?)                |
| 180 : ottena<br>首領よ、                        | 199 : Aputa kotan<br>虻田の村                  |
| 181 : tassshade ita noka<br>達者でいたのか         | 200 : nekon ne ki ya<br>どうなったのか            |
| 182 : ari sisam iki kor<br>と日本人が言いながら       | 201 : arino ikici utar<br>と言う人々が           |
| 183 : kuwa ari otke<br>杖でつづいた               | 202 : Aputa kotan<br>虻田の村                  |
| 184 : u sirki awa<br>そうしたところ                | 203 : arkehe tasuy<br>の半分が                 |
| 185 : ouse uyna horaciwe<br>ただの灰になって崩れ落ちた   | 204 : sapci awa inunukaske<br>下がったところ、哀れにも |
| 186 : i ne wa an ottena<br>その首領が            | 205 : inunukaske<br>哀れにも                   |
| 187 : uhuy siri<br>燃えた有様                    | 206 : sus easkay pe atuy or un<br>泳げる者、海へ  |
| 188 : aynu paye<br>(?)                      | 207 : kira p<br>逃げた者は                      |
| 189 : siri ne ki wa an(?)<br>(?)            | 208 : epittano sapakouhuy<br>皆、頭が燃えた       |
| 190 : upakitara siknu p hene<br>依然として生きている者 | 209 : emko uhuy<br>半分燃えた                   |
| 191 : u apkor an awa<br>であるかのようにいたが         | 210 : cikiri ka uhuy siri<br>足も燃えた有様が      |
| 192 : ottena hene<br>首長も                    | 211 : ota ka<br>砂浜にも                       |
| 193 : kor katkemat hene<br>その妻も             | 212 : cikiri oma<br>足が埋まり                  |
| 194 : cis turano<br>泣きながら                   | 213 : oro wano<br>そうして                     |

- 214 : Pepe wa  
弁辺からの
- 215 : patek siknu aynu utar  
かろうじて生き残ったアイヌ達が
- 216 : epittano  
皆
- 217 : arki ki wa  
やって来て
- 218 : Pepe uyru p  
弁辺に住んでいた者
- 219 : Repunke uyru p  
礼文華に住んでいた者
- 220 : epittano  
皆
- 221 : ikaopas ki wa  
助け合って
- 222 : ine ce ra(?)uhuy ray pe  
燃えて死んだ者
- 223 : a-emomasnu  
(の用い) で私達は忙しかった
- 224 : u kesto kane  
毎日
- 225 : u sirki ayne  
そうしたあげく
- 226 : ray koraci  
死んだように
- 227 : tap ne  
このように
- 228 : ray ramaci  
死んだ魂が
- 229 : kamuy or un  
神の元へ
- 230 : paye kur, kunine  
行くように
- 231 : ekasi utar  
老人達が
- 232 : kamuy kotanu  
神の国
- 233 : kamuykoitak  
神への祈り
- 234 : kamuykohotuye  
神への呼び掛け
- 235 : u ki p ka ki(?)  
をするものもした
- 236 : Aputa kotan  
虻田の村が
- 237 : a-arustekka  
消滅させられた
- 238 : Uson nakka  
有珠も
- 239 : a-arustekka  
消滅させられた
- 240 : oro wa tasuy  
それから
- 241 : asuruhi okay  
知らせがあった
- 242 : ottena utarihi  
首領が人々を
- 243 : usaraye wa  
分けて
- 244 : hemanta  
何か
- 245 : semas cispo(?)  
(?)
- 246 : piskani ta  
周囲に
- 247 : e-kotan para(?)  
(?)
- 248 : Usot ta nakka  
有珠でも
- 249 : u Pepe nakka  
弁辺でも
- 250 : aynu usaraye  
人を分けることを
- 251 : an kustap an  
したのであった

- |                                  |  |
|----------------------------------|--|
| 252 : Usor nakka<br>有珠も          | 271 : u hankesuye<br>近くに払い                               |
| 253 : hepuni ki na<br>復興した       | 272 : nupuri or un<br>山へ                                 |
| 254 : tapakno tasuy<br>それまで      | 273 : ikaopas kamuy<br>救いの神が                             |
| 255 : u sirki yakka<br>そうしたけれど   | 274 : hopuni ki na<br>立ち上がった                             |
| 256 : aynu utar<br>人々が           | 275 : oro wa tasuy<br>そうして                               |
| 257 : osiroma kusu<br>落ちていたので    | 276 : ha esiorun(?) kamuy hopuni turano<br>…神が立ち上がった。一緒に |
| 258 : sorekuska<br>それこそ          | 277 : Kuriya un(?)<br>クリヤの(?)                            |
| 259 : ha poro yaykemsu<br>大変安心した | 278 : nupuri ka wa<br>山の上から                              |
| 260 : u sake<br>酒を               | 279 : Siretu ka un<br>シレットゥの上の                           |
| 261 : a-suye ki wa<br>私達は作って     | 280 : kamuy nakka hopunpa<br>神も立ち上がった                    |
| 262 : episkanun<br>周囲に           | 281 : ha Huresuma wa<br>フレスマから                           |
| 263 : kamuynomi-an<br>私達は神祭りをした  | 282 : kamuy hopuni<br>神が立ち上がった                           |
| 264 : i i uturuhu<br>途中を         | 283 : sirki ayne<br>そうしたあげく                              |
| 265 : a-somoye na<br>私は省略する      | 284 : Repunkep kotan<br>礼文華の村                            |
| 266 : u sirki ayne<br>そうしたあげく    | 285 : kotan or wa<br>村から                                 |
| 267 : Weysir ka wa<br>ウェンシリの上から  | 286 : kotan repke wa<br>村の沖から                            |
| 268 : kamuy hopuni<br>神が起きあがった   | 287 : u nekkakoyki(?)<br>(?)                             |
| 269 : imeru tura<br>雷鳴と共に        | 288 : kamuy hopuni<br>神が立ち上がった                           |
| 270 : ramkopastep<br>宝剣を         | 289 : sirki ayne<br>そうしたあげく                              |

- 290 : u Pepe siretu  
 弁辺のシレットゥ
- 291 : kaske wa nakka  
 の上からも
- 292 : kamuy hopunpa  
 神々が立ち上がった
- 293 : nupuri or un  
 山へ
- 294 : piwki siri  
 助けに行く有様を
- 295 : ha a-nukar ciki  
 私は見て
- 296 : heru kamuy utar  
 神々どうして
- 297 : ukoyki siri  
 戦い合う有様
- 298 : utuypa siri  
 斬り合う有様
- 299 : sirki ayne  
 そうしてついに
- 300 : nupuri or un kamuy  
 山の神が
- 301 : ha katcak a kotom  
 負けたらしく
- 302 : nep hum ka isam  
 何の音もしなくなった
- 303 : u sirsimoye  
 地震が
- 304 : oararisam  
 全くなくなった
- 305 : sirki ayne  
 そうしてついに
- 306 : kotan or peka  
 村で
- 307 : kotan nakka  
 村も
- 308 : kotan turano  
 村と共に
- 309 : aynu turano  
 アイヌ人と共に
- 310 : a-arustekka  
 消滅させられた
- 311 : u sirki wa kusu  
 そうしてそのために
- 312 : aynu epitta  
 アイヌ人が皆
- 313 : Hurenay kotan  
 フレナイの村
- 314 : kouwekari kotan kor ki wa  
 に集まった。村を持って
- 315 : u sakesuypa  
 酒を作った
- 316 : kamuy koyayattasa  
 神に感謝した
- 317 : piskani un kamuy utar  
 周囲の神々を
- 318 : a-nomi kusu  
 私は祭るために
- 319 : u tane nakka  
 今も
- 320 : Weysirunkamuy  
 ウェンシリの神
- 321 : ha a-nomi ki na.  
 を私は祭るのだ
- 322 : Repunkep un kamuy utar  
 礼文華の神達を
- 323 : piskani un kamuy epittano  
 周囲の神々を皆
- 324 : a-nomi ki na.  
 私は祭るのだ。
- 325 : eci-eraman ki kustap  
 お前達はわかる
- 326 : u ne nankon na  
 はずであるぞ
- 327 : ari okay pe  
 ということを

- 328 : a-santeke utari  
私の子孫達
- 329 : a-epakasnu korka  
に私は物語るけれども
- 330 : ikianan(?)  
(?)
- 331 : he tane anakun  
今や
- 332 : orsetakko  
長い間
- 333 : nupuri opus  
山が噴火
- 334 : somo ki na.  
しなくなった
- 335 : yaytupare  
気を付けることを
- 336 : eci-ki nankor  
お前達はするのだぞ
- 337 : ari okay pe  
ということ
- 338 : a-utarihi a-eupaskuma  
私の一族に私は諭し
- 339 : kor oka-an ayne, onne-an kusu a-ye haw an  
ari, Hurenay un ottena iki. samo iideya)  
ながらいたあげく、死んだので私が言う話なのだと、フレナイの首長が言った、さ、もういいでや。

[テキスト3] 注釈

- 3 : cimore は不詳の形式。mo は千歳方言では「静かだ」という意味である。例：tanto anak atuy mo wa an「今日は海が静かだ」。恐らく、mo に使役接尾辞 -re を付け、さらに自発的派生接頭辞 ci- が付いた形式と思われる。文字通りには「静かにならせられる」のような意味であろう。結果的には mo を使うのとあまり意味の差はないと言えるが、mo は一音節で短い形式であり、朗唱上困難が生ずるのでわざわざこのような形式が用いられているのであろう。
- 5 : この行以後、行の後に hao のような無意味な音声が入ることが多いがテキストでは省略した。
- 12 : kustap は kusitap のように発音されている。
- 15 : この後、「もうちょっと多くてもいい、入るかいいっぱい?」と言っている。
- 30 : ciknaka は不詳。cikunaka のように聞こえる。要検討。
- 32 : 文脈からこのように訳したが不詳の形式。
- 37 : rasii は不詳。日本語と解釈したが要検討。
- 38 : 不詳の個所。要検討。
- 39 : 不詳の個所。要検討。あるいは地名か。
- 42 : usi は不詳。日本語と解釈したが要検討。
- 43 : kirarpa は不詳の形式。kirare「逃がす」の複数形である可能性があるが、これまでのところ傍証がなく、要検討。
- 48 : kirarpa は「逃がす」であろうが、意味が通じないので仮にこう訳しておく。要検討。
- 56 : yakkay の末尾の y は弱いので yakka かもしれない。
- 61 : pittarane は、Batchelor(1938 : 395)に 'pittarane, to swell with pride' とあるので仮にこう訳した。
- 83 : 不明の個所。あるいは他の可能性があるかもしれない。
- 85 : 萱野 (1996 : 131) に ekanunara「待ち焦がれる」とある。
- 98 : 久保寺 (1992 : 296) に「upash horutu 雪なだれ」とある。
- 107 : 不明の個所。
- 111 : 不明の個所。要検討。
- 118 : take は不詳の形式。要検討。



- 128 : rat は不詳。
- 129 : kouyatte は日本語か。
- 140 : 不詳。
- 144 : 不詳。
- 145 : 田村 (1996 : 414) には「nicica 木の切れ端」とある。
- 151 : 実際の発音は onrisetakko のような発音。
- 156 : 不詳。
- 166 : 久保寺 (1992 : 295) に「upakitara 相も変わらず」とある。
- 169 : あぐらをかく、という意味の語かもしれないが不詳。
- 179 : sisam の前に何か音声が聞こえるが不詳。
- 185 : 金成 (1966 : 257) に「horachiupa 落ち散らばり」とある。その単数形か。
- 197 : tasuy は不明の形式。タシュイのように聞こえる。千歳方言の強めの副助詞 tasi と関係のある形式であろうか。
- 198 : 不詳。
- 212 : 実際の音声は cirikirioma のような発音。他の可能性も含め要検討。
- 222 : 不詳。
- 223 : emomasnu は不詳。千歳方言には emonasnu「仕事が速い」という語がある。あるいは同じものか。
- 235 : 聞き取り困難な個所。要検討。
- 245 : 不詳。要検討。
- 247 : 不詳。要検討。
- 251 : kusutap のような発音。
- 259 : 千歳方言には ikewehomsu「人の無事を喜ぶ」という語がある。これと関係がある形式か。
- 264 : i' uturuhu のような発音で、iyuturuhu ではない。ここでは i i はいいよどもとして扱ったが要検討。
- 267 : 地名と思われるが不詳。
- 269 : 当初は聞き取れなかったが志賀 (1994) から示教を得た。
- 277 : 地名と思われる。永田 (1984 : 196) に Kuriya「岩影ノ丘」という地名が載る。
- 279 : 地名と思われるが不詳。永田 (1984 : 195) には Poro shiretu 大岬とあるのがあるいは該当するものか。
- 281 : 地名か。永田 (1984 : 196) に Hure shuma「赤岩」とある。
- 287 : nep ka ukoyki のようにも聞こえるが不詳。要検討。
- 300 : 当初は聞き取れなかったが志賀 (1994) から示教を得た。
- 301 : 当初は聞き取れなかったが志賀 (1994) から示教を得た。
- 302 : 当初は聞き取れなかったが志賀 (1994) から示教を得た。
- 316 : 実際の発音では kamuy ku... と言いよどんでいる。
- 330 : 聞き取り困難。要検討。
- 335 : 千歳方言では yayitupare の様な形だが、録音では確認困難なので仮に yayitupare としてある。

## [テキスト3] 索引

a-	(30)	5, 12, 15, 21, 22, 26, 30, 30, 37, 40, 72, 80, 85, 102, 113, 122, 223, 237, 239, 261, 265, 295, 310, 318, 321, 324, 328, 329, 339, 339	anak	(1)	48
a	(5)	5, 169, 174, 175, 301	anakne	(2)	112, 134
-an	(8)	15, 29, 141, 186, 263, 338, 338, 339	anakun	(3)	16, 155, 331
an	(6)	12, 186, 191, 251, 251, 339	annoski	(1)	33
			ap	(1)	107
			ape	(1)	100

apehe	(1)	34	emomasnu	(1)	223
apkor	(1)	191	ene	(1)	142
Aputa	(10)	36, 38, 47, 71, 74, 94, 121, 199, 202, 236	epakasnu	(1)	329
ari	(5)	182, 183, 327, 337, 339	episkanun	(1)	262
arino	(1)	201	epitta	(4)	97, 101, 144, 312
arkehe	(1)	203	epittano	(7)	44, 60, 92, 208, 216, 220, 323
arki	(1)	217	eraman	(1)	325
arustekka	(6)	40, 72, 122, 237, 239, 310	eranpewtek	(1)	113
as	(1)	117	esapane	(3)	76, 109, 165
asama	(1)	54	esik	(1)	131
asuruhu	(1)	241	eupaskuma	(1)	338
atuy	(4)	51, 54, 58, 206	eyererope	(1)	1
atuykouhuyka	(1)	137	hankesuye	(1)	271
atuykowente	(1)	136	haw	(2)	117, 339
awa	(6)	15, 29, 77, 184, 191, 204	hekattar	(1)	23
ayakannata	(3)	32, 153, 154	hemanta	(1)	244
ayne	(17)	62, 65, 70, 98, 100, 120, 132, 150, 152, 163, 225, 266, 283, 289, 299, 305, 339	hene	(13)	25, 89, 90, 105, 114, 115, 158, 159, 172, 173, 190, 192, 193
aynu	(11)	41, 90, 114, 159, 172, 188, 215, 250, 256, 309, 312	hepuni	(1)	253
ciarustekka	(1)	45	herepasi	(1)	135
ciki	(2)	141, 295	heru	(1)	296
cikimatekka	(1)	50	hine	(1)	31
cikiri	(2)	210, 212	honi	(2)	125, 127
cimore	(2)	3, 4	honkopittarane	(1)	61
ciranaranke	(1)	35	hopuni	(5)	268, 274, 276, 282, 288
cis	(2)	194, 197	hopunpa	(2)	280, 292
cise	(2)	138, 143	horaciwe	(1)	185
cispo	(1)	245	horutu	(1)	98
cisrimimse	(2)	106, 116	hosari	(1)	168
e-	(1)	247	hosipi	(2)	161, 162
easkay	(1)	206	hosippa	(1)	160
eci-	(2)	325, 336	hum	(1)	302
ek	(2)	87, 119	humi	(2)	87, 119
ekanhunara	(1)	85	hure	(1)	281
ekasi	(2)	25, 231	Hurenay	(6)	75, 91, 108, 164, 313, 338
emko	(4)	128, 128, 146, 209	Huresuma	(1)	281
			hutci	(1)	24
			i	(1)	142

ikaopas	(2)	221, 273	339
ike	(2)	129, 179	koraci (2) 82, 226
iki	(2)	182, 339	korawoterke (1) 55
ikici	(1)	201	korka (2) 5, 329
imeru	(1)	269	kotan (26) 4, 36, 38, 46, 47, 74, 75, 94, 97, 101, 121, 133, 157, 164, 199, 202, 236, 247, 284, 285, 286, 306, 307, 308, 313, 314
ine	(4)	53, 58, 126, 222	kotanu (2) 22, 232
inkar	(1)	141	kotom (1) 301
inunukaske	(3)	57, 204, 205	kouwekari (1) 314
isam	(3)	148, 302	kouyatteayne (1) 129
ita	(1)	181	koyayattasa (1) 316
iyokunnureci	(1)	176	kunine (1) 230
iyoyamokte	(1)	11	kunne (2) 63, 68
ka	(11)	31, 41, 42, 87, 119, 138, 148, 210, 211, 302	kur (1) 230
ka	(5)	130, 211, 267, 278, 279	Kuriya (1) 277
kamuy	(16)	170, 229, 232, 268, 273, 276, 280, 282, 288, 292, 296, 300, 316, 317, 322, 323	kustap (4) 12, 20, 251, 325
kamuykohotuye	(1)	234	kusu (8) 6, 43, 113, 257, 311, 318, 339
kamuykoitak	(1)	233	kuwa (1) 183
kamuynomi	(1)	263	na (9) 79, 131, 253, 265, 274, 321, 324, 326, 334
kane	(5)	62, 81, 149, 168, 224	nakka (9) 71, 238, 248, 249, 252, 280, 291, 307, 319
kaske	(1)	291	nankon (1) 326
kasu	(1)	10	nankor (1) 336
katcak	(1)	301	ne (11) 6, 20, 43, 77, 111, 179, 186, 189, 200, 227, 326
katkemat	(1)	193	nekon (2) 6, 200
katu	(1)	35	nep (1) 302
kayki	(1)	104	ney (3) 87, 112, 118
kesto	(5)	17, 18, 62, 81, 224	neya (2) 23, 24
ki	(24)	12, 15, 20, 31, 43, 53, 131, 178, 189, 196, 200, 217, 221, 235, 235, 253, 261, 274, 314, 321, 324, 325, 334, 336	ni (1) 143
kira	(4)	79, 82, 158, 207	nicica (1) 145
kirapare	(1)	26	nisapno (1) 49
kirare	(2)	21, 30	nispa (1) 169
kirarpa	(4)	31, 43, 48, 105	no (2) 31, 181
ko	(3)	87, 112, 118	noiwan (2) 67, 69
koitak	(1)	170	nomi (3) 318, 321, 324
kor	(9)	5, 15, 85, 170, 182, 193, 196, 314,	

nukar	(1)	295	ra	(1)	222
nupuri	(10)	13, 34, 95, 139, 167, 272, 278, 293, 300, 333	ramaci	(1)	228
oararisam	(8)	46, 88, 93, 103, 119, 137, 138, 304	rametok	(1)	28
oha	(1)	46	ramkopastep	(1)	270
oka	(2)	139, 339	ran	(1)	100
okake	(1)	27	ranke	(1)	146
okari	(1)	195	rapoke	(1)	73
okay	(10)	15, 29, 31, 147, 149, 171, 171, 241, 327, 337	rasii	(1)	37
okkayo	(1)	115	rat	(1)	128
oma	(1)	212	ray	(4)	123, 222, 226, 228
onne	(1)	339	re	(1)	18
opus	(3)	34, 34, 333	renpis	(1)	162
or	(12)	13, 47, 51, 95, 167, 206, 229, 272, 285, 293, 300, 306	repke	(1)	286
oro	(4)	104, 213, 240, 275	repunke	(1)	219
orsetakko	(2)	151, 332	repunkep	(2)	284, 322
osiroma	(1)	257	rerko	(6)	63, 64, 66, 67, 68, 69
ota	(3)	124, 130, 211	rok	(4)	31, 53, 58, 126
otke	(1)	183	rorunpe	(2)	195, 196
ottena	(10)	77, 78, 84, 110, 165, 180, 186, 192, 242, 339	roski	(1)	147
ouse	(1)	185	ru	(1)	27
owan	(2)	17, 18	ruki	(3)	58, 59, 126
oyamokte	(1)	80	run	(1)	59
p	(11)	22, 43, 48, 82, 91, 105, 190, 207, 218, 219, 235	sake	(1)	260
para	(1)	247	sakesuypa	(1)	315
patek	(5)	28, 78, 84, 111, 215	samake	(1)	177
paye	(3)	178, 188, 230	san	(1)	95
pe	(6)	123, 148, 206, 222, 327, 337	santeke	(1)	328
peka	(2)	124, 306	sapakouhuy	(2)	52, 208
Pepe	(5)	157, 214, 218, 249, 290	sapci	(1)	204
piskani	(3)	246, 317, 323	sietuuk	(1)	175
pittarane	(2)	125, 127	sihuskotoywano	(1)	2
piwki	(1)	294	siknu	(4)	112, 129, 190, 215
poro	(1)	259	simoye	(1)	10
			sine	(3)	41, 42, 138
			sinean	(1)	7
			sineani	(1)	8
			siparuk	(1)	174
			siramsuye	(1)	83

siran	(4)	86, 120, 142, 150	upakitara	(2)	166, 190
siretu	(2)	279, 290	usa	(2)	83, 89
siri	(7)	111, 187, 189, 210, 294, 297, 298	usaraye	(2)	243, 250
sirki	(16)	56, 62, 65, 70, 132, 152, 163, 184, 225, 255, 266, 283, 289, 299, 305, 311	usey	(1)	96
sirsimoye	(3)	9, 19, 303	usi	(1)	42
siruwante	(1)	14	usi	(1)	112
sisam	(5)	89, 158, 173, 179, 182	usike	(1)	3
somo	(4)	31, 43, 79, 334	uska	(1)	37
somoye	(1)	265	Uson	(1)	238
sorekuska	(1)	258	Usor	(2)	133, 252
suma	(1)	99	Usot	(1)	248
sus	(1)	206	utar	(9)	123, 143, 201, 215, 231, 256, 296, 317, 322
suye	(1)	261	utari	(1)	328
ta	(9)	7, 27, 73, 104, 112, 157, 177, 246, 248	utarihi	(2)	242, 338
tane	(4)	16, 155, 319, 331	uturuhu	(1)	264
tap	(3)	111, 197, 227	utuypa	(1)	298
tapakno	(1)	254	uyna	(1)	185
tasuy	(5)	197, 203, 240, 254, 275	uyru	(4)	22, 91, 218, 219
terke	(1)	51	wa	(30)	46, 47, 59, 87, 93, 95, 102, 118, 147, 148, 169, 171, 178, 186, 189, 214, 217, 221, 240, 243, 261, 267, 275, 278, 281, 285, 286, 291, 311, 314
to	(2)	7, 135	wakka	(2)	96, 126
tokap	(2)	64, 66	wano	(3)	8, 33, 213
tu	(1)	17	wente	(1)	102
tunpis	(1)	161	Weysir	(1)	267
tura	(1)	269	Weysirunkamuy	(1)	320
turano	(5)	99, 194, 276, 308, 309	ya	(1)	200
uhuy	(8)	128, 128, 145, 148, 187, 209, 210, 222	yakka	(3)	86, 117, 255
ukirarpare	(1)	93	yakkay	(1)	56
ukoyki	(1)	297	yaykemsu	(1)	259
un	(14)	13, 51, 167, 206, 229, 272, 277, 279, 293, 300, 317, 322, 323, 339	yaytupare	(1)	335
			ye	(2)	30, 339

[テキスト4] 「外国船来航」(亮昌寺資料)

1 : eyererope

昔から

2 : husko toywano

- |                                       |   |
|---------------------------------------|---|
| 3 : cimore kotan<br>平和な村              | 22 : cimore kotan<br>平和な村                     |
| 4 : upsorkasi<br>の上を                  | 23 : cimore mosir<br>平和な国を                    |
| 5 : a-epunkine<br>私は見守って              | 24 : a-kor awa<br>私は治めていたが                    |
| 6 : okay-an rok wa<br>暮らしていたが         | 25 : ko nep ko ne kusu<br>どうして                |
| 7 : ko nep tasuy<br>何としたか             | 26 : ene haw as i ne nankor a<br>こんな話になったのだらう |
| 8 : sinean to ta<br>ある日               | 27 : u ra ta sap-an<br>私が浜に降りて                |
| 9 : u kuwaso or un sisam<br>会所から日本人が  | 28 : inkar-an rok wa<br>みると                   |
| 10 : u ra ta<br>浜に                    | 29 : sone rasi(?)<br>本当らしい(?)                 |
| 11 : Aputa<br>虻田の                     | 30 : repunkur cip<br>異国船が                     |
| 12 : repkehe ta<br>沖に                 | 31 : kanci ratkire<br>舵を降ろして                  |
| 13 : hure sisam cip<br>異国船が           | 32 : okay wa okay<br>停泊している                   |
| 14 : u ratki ki na.<br>停泊した           | 33 : ha kaya ratkire<br>帆を下げて                 |
| 15 : ottena ra ta sap wa<br>首長よ、浜に降りて | 34 : okay wa okay<br>停泊している                   |
| 16 : inkar kusu ne na.<br>みるのだぞ       | 35 : ha yay ru kuwaso or un<br>(?)            |
| 17 : ari itak<br>と言った                 | 36 : kira wa isam<br>逃げてしまった                  |
| 18 : pet too po apata kari(?)<br>(?)  | 37 : sine sisam ka oararisam<br>日本人は一人もいなくなった |
| 19 : oararisam ki na.<br>いなくなった       | 38 : oro wano<br>そうして                         |
| 20 : ko nekon ne hawe<br>どうしたことか      | 39 : a-utarihi<br>一族に                         |
| 21 : husko toywano<br>昔から             | 40 : a-pawetenke<br>私は命じた                     |

- |                                      |   |
|--------------------------------------|---|
| 41 : surku ay<br>毒矢を                 | 60 : a-hankeyoni<br>私は近くに縮めた            |
| 42 : a-kare kimatekka<br>私は作ることをせかした | 61 : herasi<br>浜に                       |
| 43 : surku aypo<br>毒矢を               | 62 : sap-an<br>私達は降りた                   |
| 44 : kesto kane<br>毎日                | 63 : ra ta paye-an<br>浜に私達は行った          |
| 45 : karici oro wa<br>作りそうして         | 64 : herepasi<br>沖を                     |
| 46 : aokay tasuy<br>私は               | 65 : inkar-an ciki<br>私達が見ると            |
| 47 : hoski kane<br>先に                | 66 : upakitaru<br>依然として                 |
| 48 : anokay tasuy<br>私は              | 67 : repunkur cip<br>異国船が               |
| 49 : hoski rupno(?)<br>先に(?)         | 68 : kira ka somo ki no<br>逃げもせずに       |
| 50 : ay suwop sik no<br>矢筒いっぱい       | 69 : kesto kane<br>毎日                   |
| 51 : surku ay<br>毒矢を                 | 70 : okay wa okay<br>停泊している             |
| 52 : a-se ki wa<br>私は背負って            | 71 : koraci tasuy<br>同様に                |
| 53 : a-utari utat turano<br>一族の者達と   | 72 : aokay utar nakka<br>私達も            |
| 54 : tu aynu numikir<br>二列           | 73 : surku aypo<br>毒矢                   |
| 55 : re aynu numikir<br>三列           | 74 : ku ay konitata<br>弓に矢を載せて(?)       |
| 56 : a-situriire<br>になって             | 75 : a-eyoko kane<br>私達は狙って             |
| 57 : rorunpe<br>踏舞の                  | 76 : okay-an ayne<br>いるととうとう            |
| 58 : apkas<br>行進を                    | 77 : kamyasi utar<br>異人達が               |
| 59 : a-tuymaturi<br>私は遠くに伸ばし         | 78 : cip oske ta ikici siri<br>船の中で動くのが |

- |  |  |
|--|--|
| 79 : a-nukar ciki<br>見えたが                    | 98 : anokay utar<br>私達は                    |
| 80 : ruhure ipor kor<br>赤みを帯びた顔色をして          | 99 : nep wen kewtum<br>何も悪い心               |
| 81 : a hure sapa kor<br>赤い髪の毛をして             | 100 : ko nep tumihi<br>何も争いを               |
| 82 : hure etop us<br>赤い髪が生えた                 | 101 : a-yapte kusu<br>もたらすために              |
| 83 : kamyasi patek<br>異人ばかりが                 | 102 : arki-an ruwe<br>来たの                  |
| 84 : u cip sikte<br>船いっぱい                    | 103 : somo tap an na.<br>ではないのだ            |
| 85 : okay siri<br>いるのが                       | 104 : sonpay-an kusu<br>商売のために             |
| 86 : a-nukar ciki<br>見えたので                   | 105 : iki-an awa<br>やっていたが                 |
| 87 : ha wen kinra ne i-kohtari<br>私に怒りがこみ上げた | 106 : wakkatuye-an ki wa<br>水が切れて          |
| 88 : aka . kesto kane<br>毎日                  | 107 : u kesto kane<br>毎日                   |
| 89 : a-koyokoyoko<br>私達がねらい続けて               | 108 : ipepo kayki<br>食べ物も                  |
| 90 : a-tukan kuni<br>私達が射るぞと                 | 109 : wakkaesat a-kici ki wa<br>水が底をついて    |
| 91 : a-siekimatekka<br>私達が脅した                | 110 : ene iki-an i ka isam<br>どうしようもなくなった  |
| 92 : iki-an awa<br>そうしたところ                   | 111 : wakkahok-an rusuy kusu<br>水を買いたいので   |
| 93 : sinean to ta<br>ある日                     | 112 : tan rep ta kayaratkire<br>この沖に帆を下ろした |
| 94 : poro cip<br>大きな船                        | 113 : a-ki rok wa<br>のであって                 |
| 95 : or wa<br>から                             | 114 : ene aynu utar<br>このようにアイヌ人達が         |
| 96 : pon cip yap wa<br>小さな船が陸へ向かって来た         | 115 : i-ronnu kusu<br>私達を殺そうと              |
| 97 : ene hawe ruy<br>言うことには                  | 116 : surku aypo<br>毒矢で                    |



- 117 : i-y-eyoko yakka  
私達を狙っても
- 118 : iyonuytasa kewtum a-somokor na  
仕返しの気持ちはもっていない
- 119 : itekke i-ronnu ki no  
私達を殺さないで
- 120 : wakka kane  
水と金を
- 121 : tono e amam  
殿が食べる穀物
- 122 : tono ku sake  
殿が飲む酒を
- 123 : poronno a-kusa  
たくさん私達は積んできた
- 124 : usa keraan pe  
色々なおいしいものを
- 125 : wakka tura a-utasare kusu henne pirka ruwe  
he an  
水と交換したらどうだろうか
- 126 : somo ki  
そうしない
- 127 : ko anakne(?)  
ならば(?)
- 128 : tane anakun  
今は
- 129 : wakka ep(?)  
(?)
- 130 : yanakka(?)  
(?)
- 131 : wakkaekot a-ki kuski na  
私達は水不足で死ぬところだ
- 132 : nekona ne ya  
どうかして
- 133 : amam newa  
穀物と
- 134 : sake a-utasare  
酒を交換
- 135 : easkay ko  
できれば
- 136 : tewano  
今から
- 137 : wakkaahupkar-an wa  
水ももらって
- 138 : a-ku p tap an na  
私達はのむよ
- 139 : i-siknure wa i-korpare yan  
命は助けてください
- 140 : onkami-an na  
拝みます
- 141 : tan kamuy ottena  
かの神の首長よ
- 142 : aynu ottena  
アイヌの首長よ
- 143 : a-ye a itak  
私が言う言葉
- 144 : i-nuci wa i-korpare yan  
耳を傾けてください
- 145 : arino tasuy  
と
- 146 : itakci ki wa  
言うので
- 147 : oro wano  
そうして
- 148 : a-eyaykotuyma  
私はよく
- 149 : siramsuye wa  
考えて
- 150 : inu-an ki ko  
みると
- 151 : sonno kayki  
本当に
- 152 : wen kewtum kor ka  
悪い心を持っていることも
- 153 : somo kici wa  
ない

- |   |   |
|---|---|
| 154 : haweeruku ari(?)<br>ことを私は(?)        | 173 : poro yamaha<br>大きな山に  |
| 155 : yaynu-an kusu<br>考えたので              | 174 : an ki na<br>なった   |
| 156 : ne wa an pe<br>それを                  | 175 : kesto kane<br>毎日  |
| 157 : a-eese wa<br>私は了承したので               | 176 : wakka uyna oro wa<br>水をとってそうして                              |
| 158 : ramusinnecki<br>彼等は安心した             | 177 : too hereporaye isamci ko<br>ずっと沖へいなくなると                     |
| 159 : aokay anak<br>私は                    | 178 : okakehe ta<br>後に  |
| 160 : a-uncise ta arki-an ma<br>私の家に来て    | 179 : a-utari utar<br>私の一族の者達が                                    |
| 161 : a-utari utar kesto kane<br>一族の者達が毎日 | 180 : au, awwetante(?)<br>(?)                                     |
| 162 : i surku aypo<br>毒矢を                 | 181 : moyo utar moyo koraci<br>人数が少ない人は少ないように                     |
| 163 : koraci ki wa<br>同様にして               | 182 : u at utar at koraci<br>多い人は多いように                            |
| 164 : kawari kawari<br>かわるがわる             | 183 : usa amam hene<br>穀物でも                                       |
| 165 : ra ta sap wa<br>浜に下って               | 184 : sake hene<br>酒でも  |
| 166 : banpe ne kusu<br>番をするので             | 185 : keraan pe hene a-ukousaraye yakka oro wa<br>ものでも私は分けても、そうして |
| 167 : kamyasi utar<br>異人達が                | 186 : ikasma hike<br>余って  |
| 168 : wakka rura<br>水を運び                  | 187 : a-uncise ta<br>私の家で   |
| 169 : usa amam<br>穀物でも                    | 188 : a-utari utat turano<br>一族の者達と共に                             |
| 170 : usa sake<br>酒でも                     | 189 : yaykehumsu<br>無事を喜んだ  |
| 171 : a-uncise ta<br>私の家に                 | 190 : sake<br>酒   |
| 172 : rura ki wa<br>運んで                   | 191 : kamuynomi<br>神への祈りを   |

- 192 : a-ki kustap ne  
私はしたのだった
- 193 : usa inaw  
イナウも
- 194 : uware  
立った
- 195 : pase kamuy utar  
偉い神達に
- 196 : a-sikoinkare  
私は自分の方に向けてもらった
- 197 : emkosama  
そのために
- 198 : kesto kane  
毎日
- 199 : kamuy  
神様
- 200 : kamuynomi-an ma  
神への祈りを私はして
- 201 : kesto kane  
毎日
- 202 : a-utari hemem  
私の一族も
- 203 : iku-anci ayne  
酒を飲んだあげく
- 204 : ramuhu ka  
心も
- 205 : kewtum a-kor wa  
心を私達は持って
- 206 : okay-an kusu  
いるので
- 207 : repunkur utar  
異国人達が
- 208 : ha wakka esat wa kotan or pakno sirepa ruwe  
ne korkayki a-koaskay wa tan koraci  
水が底をついて村まで着いたのだったけれど、うまくやる事ができてこのように
- 209 : sake ku pakno iki-an kusu a-ye haw an  
お酒をのむまで私はやったのだから私は言うのだ。

[テキスト 4] 注釈

- 1 : 実際の発音では句頭に i という音声聞こえる。
- 14 : ratki は千歳方言では「垂れ下がる」という意味であるが、文脈から考えるとここでは「停泊する」という意味なのであろうか。要検討。
- 15 : ra ta 「下に」と言っているが、文脈から考えて「浜に」という意味のようである。
- 18 : 不詳。要検討。
- 29 : rasii は不詳。日本語か。
- 35 : 聞き取り困難な個所。
- 40 : apewatenki のように聞こえるが、他の個所の発音も勘案してこう表記した。
- 47 : この後に、「アオカイっていえばこれ酋長（原文のまま一執筆者注）先にあの毒矢もって浜さ出るって言うことだからね。」と言っている。
- 49 : rupno と聞こえるが不詳。要検討。
- 54 : 久保寺（1992 : 177）に「numikir 列、群集」とある。
- 74 : 田村（1996 : 327）に「konitata 押える」とある。
- 92 : 実際の発音は ikiyan のような発音。
- 97 : ruy の後に文法的には i 「事」を立てるべきかもしれない。
- 125 : henne は[inne]に近い発音。
- 127 : 不詳の個所。要検討。
- 129 : 不詳の個所。要検討。この行の後、音声の途切れがある。
- 130 : 不詳の個所。要検討。
- 131 : kuski は「～しかける」という意味の形式のようである。吉田（1915 : 387）には、虻田方言の

- 例文として「イサッタ (ママ―筆者注)、リシピ  
リカ、クシキヤ (明日は、天気よいか)」とある  
(小川正人氏の示教による)。
- 150 : 実際には *inuyan* のような発音。  
154 : 不詳。  
155 : 実際には *yaynuyan* のような発音。  
157 : この個所は当初は聞き取り不能であったが志  
賀 (1994) から示教を得た。  
160 : 実際には *arkiyan* のような発音。  
179 : 不詳。  
197 : *wemkosama* のようにも聞こえる。田村 (1996 :  
97) に *emkosama* 「そのために」とある。  
203 : 実際には *ikuyanci* のような発音。  
205 : 実際には *keytum* のような発音なので *keytum*  
と表記すべきかもしれない。要検討。  
209 : 実際には *ayee haw a wan* のような発音。仮  
にこのように解釈したが要検討。 *iki-an kusu a-*  
*ye haw an* は節なしで語られている。

[テキスト 4] 索引

a-	(41)	5, 24, 39, 40, 42, 52, 53, 56, 59, 60, 75, 79, 86, 89, 90, 91, 101, 109, 113, 118, 123, 125, 131, 134, 138, 143, 148, 157, 160, 161, 171, 179, 185, 187, 188, 193, 197, 202, 205, 208, 209	ayne	(2)	76, 204
amam	(4)	121, 133, 169, 184	aynu	(4)	54, 55, 114, 142
-an	(22)	6, 27, 28, 62, 63, 65, 76, 92, 102, 104, 105, 106, 110, 111, 137, 140, 150, 155, 160, 200, 206, 209	aypo	(4)	43, 73, 116, 162
an	(6)	103, 125, 138, 156, 174, 209	banpe	(1)	166
anak	(1)	159	ciki	(3)	65, 79, 86
anakka	(1)	72	cimore	(3)	3, 22, 23
anakne	(1)	127	cip	(7)	13, 30, 67, 78, 84, 94, 96
anakun	(1)	128	e	(1)	121
-anci	(1)	204	easkay	(1)	135
anokay	(2)	48, 98	eese	(1)	157
aokay	(3)	46, 72, 159	emkosama	(1)	197
apkas	(1)	58	ene	(4)	26, 97, 110, 114
Aputa	(1)	11	epunkine	(1)	5
ari	(2)	17, 154	esat	(1)	208
arino	(1)	145	etop	(1)	82
arki	(2)	102, 160	eyaykotuyma	(1)	148
as	(1)	26	eyererope	(1)	1
at	(2)	182, 182	eyoko	(2)	75, 117
au	(1)	180	hankeyoni	(1)	60
awa	(3)	24, 92, 105	haw	(2)	26, 209
ay	(4)	41, 50, 51, 74	hawe	(2)	20, 97
			he	(1)	125
			hemem	(1)	202
			hene	(3)	183, 184, 185
			henne	(1)	125
			herasi	(2)	29, 61

herepasi (1)	64	kewtum (4)	99, 118, 152, 205
hereporaye (1)	177	ki (16)	14, 19, 52, 68, 106, 109, 113, 119, 126, 131, 146, 150, 163, 172, 174, 192
hike (1)	187	kici (2)	109, 153
hoski (2)	47, 49	kimatekka (1)	42
hure (3)	13, 81, 82	kinra (1)	87
husko (2)	2, 21	kira (2)	36, 68
i-	(8) 87, 115, 117, 119, 139, 139, 144, 144	ko (9)	7, 20, 25, 25, 100, 135, 177
i (2)	26, 110	koaskay (1)	208
ikasma (1)	186	kohetari (1)	87
iki (5)	92, 105, 110, 208, 210	konitata (1)	74
ikici (1)	78	kor (5)	24, 80, 81, 152, 205
iku (1)	203	koraci (5)	71, 163, 181, 182, 208
inaw (1)	193	korkayki (1)	208
inkar (3)	16, 28, 65	korpare (2)	139, 144
inu (1)	150	kotan (3)	3, 22, 208
ipepo (1)	108	koyokoyoko (1)	89
ipor (1)	80	ku (4)	74, 122, 138, 209
isam (2)	36, 110	kuni (1)	90
isamci (1)	177	kusa (1)	123
itak (2)	17, 143	kuski (1)	131
itakci (1)	146	kustap (1)	192
itekke (1)	119	kusu (11)	16, 25, 101, 104, 111, 115, 125, 155, 166, 206, 209
iyonuytasa (1)	118	kuwaso (2)	9, 35
ka (5)	37, 68, 110, 152, 204	ma (2)	160, 200
kamuy (3)	141, 195, 199	mosir (1)	23
kamuynomi (2)	191, 200	moyo (2)	181, 181
kamyasi (3)	77, 83, 167	na (9)	14, 16, 19, 103, 118, 131, 138, 140, 174
kanci (1)	31	nankor (1)	26
kane (11)	44, 47, 69, 75, 88, 107, 120, 161, 175, 198, 201	ne (10)	16, 20, 25, 26, 87, 132, 156, 166, 192, 208
karici (1)	45	nekon (1)	20
kare (1)	42	nekona (1)	132
kawari (2)	164, 164	nep (4)	7, 25, 99, 100
kaya (1)	33	newa (1)	133
kayaratkire (1)	112	no (3)	50, 68, 119
kayki (2)	108, 151		
keraan (2)	124, 185		
kesto (8)	44, 69, 88, 107, 161, 175, 198, 201		

nuci	(1)	144	ruwe	(3)	102, 125, 208
nukar	(2)	79, 86	ruy	(1)	97
numikir	(2)	54, 55	sake	(6)	122, 134, 170, 184, 190, 209
oararisam	(2)	19, 37	sap	(4)	15, 27, 62, 165
okakehe	(1)	178	sapa	(1)	81
okay	(10)	6, 32, 32, 34, 34, 70, 70, 76, 85, 206	se	(1)	52
onkami	(1)	140	siekimatekka	(1)	91
or	(4)	9, 35, 95, 208	sik	(1)	50
oro	(5)	38, 45, 147, 176, 185	siknure	(1)	139
oske	(1)	78	sikoinkare	(1)	196
ottena	(3)	15, 141, 142	sikte	(1)	84
p	(1)	138	sine	(1)	37
pakno	(2)	208, 209	sinean	(2)	8, 93
pase	(1)	195	siramsuye	(1)	149
patek	(1)	83	sirepa	(1)	208
pawetenke	(1)	40	siri	(2)	78, 85
paye	(1)	63	sisam	(3)	9, 13, 37
pe	(3)	124, 156, 185	siturire	(1)	56
pirka	(1)	125	somo	(4)	68, 103, 126, 153
pon	(1)	96	somokor	(1)	118
poro	(2)	94, 173	sone	(1)	29
poronno	(1)	123	sonno	(1)	151
ra	(5)	10, 15, 27, 63, 165	sonpay	(1)	104
ramuhu	(1)	204	surku	(6)	41, 43, 51, 73, 116, 162
ramusinnci	(1)	158	suwop	(1)	50
ratki	(1)	14	ta	(14)	8, 10, 12, 15, 27, 63, 78, 93, 112, 160, 165, 171, 178, 187
ratkire	(2)	31, 33	tan	(3)	112, 141, 208
re	(1)	55	tane	(1)	128
rep	(1)	112	tap	(2)	103, 138
repkehe	(1)	12	tasuy	(5)	7, 46, 48, 71, 145
repunkur	(3)	30, 67, 207	tewano	(1)	136
rok	(3)	6, 28, 113	to	(2)	8, 93
ronnu	(2)	115, 119	tono	(2)	121, 122
rorunpe	(1)	57	too	(1)	177
ru	(1)	35	toywano	(2)	2, 21
ruhure	(1)	80	tu	(1)	54
rura	(2)	168, 172	tukan	(1)	90
rusuy	(1)	111			

tumihi (1)	100	96, 106, 109, 113, 137, 139, 144, 146, 149, 153, 156,	
tura (1)	125	157, 163, 165, 172, 176, 185, 205, 208, 208	
turano (2)	53, 188	wakka (6)	120, 125, 129, 168, 176, 208
tuymaturi (1)	59	wakkaahupkar (1)	137
ukousaraye (1)	185	wakkaekot (1)	131
un (2)	9, 35	wakkaesat (1)	109
uncise (3)	160, 171, 187	wakkahok (1)	111
upakitara (1)	66	wakkatuye (1)	106
upsorkasi (1)	4	wano (2)	38, 147
us (1)	82	wen (3)	87, 99, 152
usa (5)	124, 169, 170, 183, 193	ya (1)	132
utar (11)	72, 77, 98, 114, 161, 167, 179, 181, 182, 196, 207	yakka (2)	117, 185
utari (5)	53, 161, 179, 188, 202	yamaha (1)	173
utarihi (1)	39	yan (2)	139, 144
utasare (2)	125, 134	yap (1)	96
utat (2)	53, 188	yapte (1)	101
uware (1)	194	yay (1)	35
uyna (1)	176	yaykehumsu (1)	189
wa (30)	6, 15, 28, 32, 34, 36, 45, 52, 70, 95,	yaynu (1)	155
		ye (2)	143, 209

## [テキスト 5] 「異国船来航」(更科源藏氏録音資料)

1 : eyererope o	10 : a-ki kustap ne
2 : ha	私はするために
3 : ha	11 : iki-an awa
4 : iyaynumare	私はしたが
なんとまあ	12 : piskan ta
5 : iperusuy ne manu p	まわりに
腹が減ることを	13 : arki turasi
6 : a-ki kusu	来る
私はしたので	14 : aynu a-kowen
7 : hure sisam kotan wa	アイヌ人を私は恐れた
異国人の国から	15 : ayneno
8 : kotan uwante	そのあげく
村々を見回ること	16 : henoyenoye kira patek a-kici ayne
9 : mosir uwante	曲がりながら逃げることだけ私達はして、そ
国々を見回ることを	のあげく

- |   |   |
|---|---|
| 17 : wakkasak-as<br>私達は水がなくなった                | 36 : cis turano<br>泣きながら                              |
| 18 : wakkasak-an<br>私達は水がなくなった                | 37 : ikarietaye-an ki<br>私達は碇を引き上げることをした              |
| 19 : ene iki-an ma<br>どう私達はして                 | 38 : cip or<br>船に                                     |
| 20 : ipe-an usi<br>食べる所も                      | 39 : a-omare wa<br>私達は入れて                             |
| 21 : a-eranpewtek<br>私達はわからなかった               | 40 : kira-an ma<br>私達は逃げて                             |
| 22 : Osamanpe kotan<br>オシャマンベの村の              | 41 : arki-an katu<br>来た有様は                            |
| 23 : u repkehe ta<br>沖に                       | 42 : ene an i<br>こうだった                                |
| 24 : ikari ratkire<br>碇を降ろすことを                | 43 : Opkesmosir<br>オペケシモシリの                           |
| 25 : ikari osura<br>碇を投げることを                  | 44 : repke a-kus wa<br>沖を私達は通って                       |
| 26 : a-ki awa<br>私達はしたが                       | 45 : Cipatuinne ot ta<br>チパトゥインネに                     |
| 27 : Osamanpe kotan or un utar<br>オシャマンベ村の人々、 | 46 : sirepa-an ma<br>私達は着いて                           |
| 28 : aynu kowen<br>アイヌ人が恐れた                   | 47 : heyasi inkar a-ki rok wa<br>陸のほうを眺めたところ          |
| 29 : ko nep tap ne kusu<br>なぜ                 | 48 : pon naypo<br>小さな沢が                               |
| 30 : hure sisam cip<br>異国人の船が                 | 49 : cararse wa<br>流れ下っていたので                          |
| 31 : i-repkehe ta ikariranke<br>私達の沖に碇を降ろすこと  | 50 : oro ta kayki<br>そこでも                             |
| 32 : cipratkire<br>停泊すること                     | 51 : wakkata-an rusuy<br>水を汲みたいと思った                   |
| 33 : i ki siri oka<br>しているのか                  | 52 : kusu cipyapte-an<br>ので船を私達は陸へ向けた                 |
| 34 : ari haw as kor<br>と言われつつ                 | 53 : iki-ay yakka<br>そうしたけれども                         |
| 35 : aynu a-kowen ayne<br>アイヌ人を私達はおそれて、そのあげく  | 54 : nam, ha, nay punkasi wa a-nise<br>冷たい沢(?)から私達が掬う |



- 55 : a-ta ka eaykap  
私達は汲むことができなかった
- 56 : a-eranpewtek  
…私達はわからなかった
- 57 : herikasi  
上を
- 58 : inkar-an rok wa  
見たところ
- 59 : kayani pirka  
帆柱が立派であった
- 60 : roski ruwe  
立っているのに
- 61 : a-erayap wa  
私達は感心して
- 62 : kayani tuye  
帆柱を切ることを
- 63 : tuppis  
二本
- 64 : reppis  
三本
- 65 : a-ki awa  
私達がしたところ
- 66 : ineanpe kusu  
なぜか
- 67 : u Pepe un ottena  
弁辺の首長が
- 68 : iruska kusu  
怒るので
- 69 : kayani nakka  
帆柱も
- 70 : aynu a-kor  
アイヌ人である私達が所有している
- 71 : wakka nakka  
水も
- 72 : a-nise kuni  
私達(アイヌ人が) 汲むべきである
- 73 : wen hattoho  
ひどい禁止が
- 74 : i-koyap ki wa  
私達に出たので
- 75 : u cis turano  
泣きながら
- 76 : Aputa kopak un  
虻田の方角へ
- 77 : cipeoye-an  
船を私達は曲げた
- 78 : u arki hine  
やって来て
- 79 : Aputa rep ta  
虻田の沖に
- 80 : ikariratkire  
碇を垂らすことを
- 81 : a-kici rok wa  
私達がしたところ
- 82 : heyasineap(?)  
(不明)
- 83 : aynunuruhuyhi(?)  
(不明)
- 84 : tanun paye  
こっちへ行き
- 85 : tonun paye  
あっちへ行き
- 86 : u sirki ayne  
そうしたあげく
- 87 : kuwaso or un tono  
会所の役人は
- 88 : Aputa un ottena  
虻田の首長よ
- 89 : neun inkar  
どこを見ている
- 90 : Aputa rep ta  
虻田の沖に
- 91 : hure sisam  
異国人の
- 92 : u cip tap ne  
船がこのように

- |   |  |
|---|--|
| 93 : kayarakire<br>帆を降ろすことを               | 112 : a-wente nankon na ari<br>破壊されるだろうと     |
| 94 : ki wa<br>して                          | 113 : kuwaso or un tono iki.<br>会所の役人が言った    |
| 95 : okay nankon na<br>いるようだぞ             | 114 : arino tasa ap wa i(?)<br>(不明)          |
| 96 : ottena<br>首長よ                        | 115 : kuwaso or un tono iki wa<br>会所の役人が言うので |
| 97 : neun inkar wa<br>どこを見て               | 116 : u nep kusu ta<br>どうしてか                 |
| 98 : ene siri okay<br>いるのだ                | 117 : ruwesan kari<br>船着き場を通過して              |
| 99 : tap ne sirki ko<br>このような有様であると       | 118 : ra ta sap-an<br>下に私は降りた                |
| 100 : anakne<br>それならば                     | 119 : u inkar-an<br>私は見た                     |
| 101 : hure sisam utar kot<br>異国人達はその      | 120 : he inkar-an kusu<br>私が見るために            |
| 102 : tumicip yapte<br>軍船を上陸させる           | 121 : u sap-an awa<br>下がる                    |
| 103 : etoko kar kusu<br>準備をするのだから         | 122 : usayne kane<br>あれこれと                   |
| 104 : tap ne iki-an kusu<br>このように私が言うのだから | 123 : aemaanuu(?)<br>(不明)                    |
| 105 : hokurekure e-utarihi<br>さあさあお前の仲間に  | 124 : huresisam cip<br>異国人の船                 |
| 106 : pawetenke wa<br>命令して                | 125 : u poro pencay<br>大きな船が                 |
| 107 : tan rep un cipi<br>この異国の船を          | 126 : kaya ratkire<br>帆を降ろして                 |
| 108 : a-toykowente<br>私達が完全に壊す            | 127 : repke ta okay<br>沖にいた                  |
| 109 : a-toykopatu<br>私達が完全に蹴散らす           | 128 : a-nukar ciki<br>私は見ると                  |
| 110 : somo ki ko anak<br>のでなければ           | 129 : wen kinra ne<br>怒りが                    |
| 111 : e-kotanuhu<br>お前の村が                 | 130 : i-kohetari<br>湧き起った                    |

- 131 : mak ta arki-an ma  
奥へ私は来て
- 132 : a-utarihi  
私の部下
- 133 : opittano  
全部に
- 134 : a-pawetenke  
私は命令した
- 135 : hokurekure  
さあさあ
- 136 : i surku ay  
毒矢と
- 137 : ku turano  
弓とを
- 138 : eci-anpa wa  
お前たちは持って
- 139 : ra ta sap-an  
下に下りなさい
- 140 : ci ot ta anak  
(不明)
- 141 : u surku  
毒
- 142 : u surku op  
毒槍を
- 143 : poronno tasuy  
たくさん
- 144 : a-kor kusu  
私は持っていたので
- 145 : u surku op  
毒槍を
- 146 : hoskino san pe  
先に下がった者に
- 147 : u surku op  
毒槍を
- 148 : a-mire kuski na  
私は持たせるつもりだぞ
- 149 : cise soy ta  
家の外に
- 150 : eci-epitta  
お前たちは皆
- 151 : uwekarpa yan  
集まりなさい
- 152 : ari itak-an kor  
と私は言いつつ
- 153 : poro hotuye  
大きな叫びを
- 154 : a-ki kor tap ne  
私はしたのだった
- 155 : a-un kor  
私の
- 156 : cise ot ta  
家に
- 157 : hekomo-an ma  
私は戻って
- 158 : u cip, u sipini-an  
身支度をした
- 159 : oro wa tasuy  
それから
- 160 : cise parka uwoeusi  
家の天井の継ぎ目から
- 161 : para op epitta  
幅の広い槍を全部
- 162 : a-rapte ki wa  
私は降ろして
- 163 : so or a-o  
床に私は置いた
- 164 : rapoke ta  
その間に
- 165 : a-utarihi  
私の部下
- 166 : rametok utar  
強者達が
- 167 : cise soy ta  
家の外に
- 168 : uwekarpa ko  
集まると

- |                                   |                                       |
|-----------------------------------|---------------------------------------|
| 169 : aokay op<br>私は槍             | 188 : kasiketa erok a<br>上に載った        |
| 170 : hoski kane<br>先に            | 189 : ha epitta tap ne<br>皆           |
| 171 : para op a-ani<br>広い槍を私は持った  | 190 : ya sinu (?)<br>(不明)             |
| 172 : ra ta sap-an<br>下に私は降りた     | 191 : okayci ki wa<br>いて              |
| 173 : tu aynu numikir<br>二つの人の集団  | 192 : tekuwesirusiru<br>手を何度もこすった     |
| 174 : re aynu numikir<br>三つの人の集団を | 193 : u cis hawe<br>泣き声               |
| 175 : a-siturare<br>私は伴った         | 194 : ha pewtanke hawehe<br>助けを求める声を  |
| 176 : hure sisam<br>異国人の          | 195 : a-nu kor tap ne<br>私は聞きながらこのように |
| 177 : u cip or un<br>船へ           | 196 : ota ka ta<br>浜の上に               |
| 178 : para op eyoko<br>幅が広い槍でねらう  | 197 : …an ki na (?)<br>(不明)           |
| 179 : yokoyoko<br>ねらってねらって        | 198 : ki an awa (?)<br>(不明)           |
| 180 : iki-an ciki<br>私達がすると       | 199 : ko nep cipihi<br>何の船            |
| 181 : cip ka ta<br>船の上に           | 200 : u nokan cip anakne<br>小さな船は     |
| 182 : sapa ka ta<br>頭の上に          | 201 : tuppis<br>二つ                    |
| 183 : kap paskur kesupi<br>カラスの足が | 202 : reppis<br>三つ                    |
| 184 : eotara apkor<br>突き出したかのよう   | 203 : horepasi wa<br>沖から              |
| 185 : okay kamyasi<br>である怪物       | 204 : yap ayneno<br>接岸してとうとう          |
| 186 : hure etop<br>赤い髪の毛が         | 205 : sanota kurka<br>接岸してとうとう        |
| 187 : kocipayaya<br>逆立っていた        | 206 : eyaomare<br>舳先を付けた              |

- 207 : cis turano  
泣きながら
- 208 : ene itak i  
こう言った
- 209 : itak-an ciki  
私が言うから
- 210 : pirkanu yan  
よく聞いて下さい
- 211 : aynu nispa  
アイヌ人の旦那よ
- 212 : aynu ottena  
アイヌ人の首長よ
- 213 : kotan kor ottena  
村を治める首長よ
- 214 : itak-an ciki  
私が言うから
- 215 : pirkanu wa  
よく聞いて
- 216 : a-ye p koraci  
私が言う通りに
- 217 : ikici ki wa  
して
- 218 : i-korpare yan  
下さい
- 219 : ari pu pun(?)  
と(?)
- 220 : ikici ki ko  
言うと
- 221 : ciskoitak  
泣きながら言うのを
- 222 : a-nuci ki ko  
私達は聞くと
- 223 : wakkasak-an ma  
私達は水がなくなって
- 224 : mosit turasi  
島の奥へ
- 225 : ko nep tumihi  
何も戦争を
- 226 : a-ki kusu wa(?)  
私達はするために
- 227 : ene iki-an i  
このようにした
- 228 : somo tap an na  
のではないぞ
- 229 : piskan ta  
まわりに
- 230 : eyaomanko(?)  
(不明)
- 231 : aynu a-kowen  
アイヌ人を私達は恐れている
- 232 : wakkasak-an wa  
私達は水が無くなって
- 233 : tane anakun  
今や
- 234 : kemekot-an wa  
飢えて
- 235 : ray-an kuski na  
死んでしまうところだぞ
- 236 : ep pakno nakka(?)  
食べるものまでも(?)
- 237 : akuusaptapne(?)  
(不明)
- 238 : tono amam ne hene(?)  
貴人の穀物でも
- 239 : tono kuwasi  
貴人の菓子
- 240 : tono sake hene  
貴人の酒でも
- 241 : ne nankor(?)  
であるだろう(?)
- 242 : wakka tura itasare wa  
水と交換して
- 243 : eciko, aynu a-korek anak(?)  
(不明)
- 244 : nep tumi ka somoki na  
何も戦争もしないぞ

245 : a-ye p koraci 私が言う通り	264 : tuppis 二人
246 : tasuketekero ari 助けてくれ、と	265 : reppis 三人が
247 : oro wa tasuy そして	266 : nep tap ne(?) 何か
248 : a-cipihi 私達の舟を	267 : hure sisam utar 異国人達に
249 : a-sapte ki wa 私達は出して	268 : eparkoyakoya どもりどもり話した
250 : rep ta paye-an 沖に私達は出た	269 : u sirki ciki そうして
251 : ene ne p ani(?) こういうことを(?)	270 : yayan sisam utar 普通の日本人達は
252 : pirkasikan よく	271 : tap ne koraci このように
253 : a-nu rusuy wa 私は聞きたくて	272 : esir koraci(?) (?)
254 : rep ta paye-an 沖に私は出た	273 : wakkasak-an 私達は水がない
255 : inkar-an ko 見ると	274 : u ki wa tap ne そうして
256 : okay pe epitta いるもの全部が	275 : amam hemem 米でも
257 : hure etop 赤い髪	276 : sake hemem 酒でも
258 : hure, hure nanpo 赤い顔	277 : kuwasi hemem 菓子でも
259 : korek na utarpa(?) を持って	278 : saranpe hemem 絹でも
260 : hure sisam pa, utarpa 異国人の旦那が	279 : poronno okay kusu たくさんあるので
261 : te cipounko(?) (?)	280 : wakka a-tasare ko 水と私は交換すれば
262 : oro ta そこで	281 : pirka ki na いい
263 : yayan sisam 普通の日本人が	282 : a-ye p koraci 私が言う通りに

- 283 : i-kar wa en-kore ari  
してくださいと
- 284 : aynu a-ye  
アイヌ人に私は言った
- 285 : ki wa  
そうして
- 286 : sone itak  
本当の言葉
- 287 : sone kewtum  
本当の気持ちを
- 288 : hure sisam utar  
異国人達は
- 289 : kici ike  
言っ
- 290 : a-ye itak ciki(?)  
(?)
- 291 : turi oro wa(?)  
(?)
- 292 : u yap-an ko  
私が上陸すると
- 293 : wakkata cip  
水を汲む舟が
- 294 : tuppis  
二つ
- 295 : reppis  
三つ
- 296 : putauussikei(?)  
(?)
- 297 : u yapci ki ko  
上陸すると
- 298 : mosma tap ne(?)  
(?)
- 299 : amam tara  
米俵
- 300 : sake o sintoko  
酒の入った桶
- 301 : kuwasi o suwop  
菓子の入った箱が
- 302 : poronno tap ne  
たくさん
- 303 : u yap ki wa  
上陸して
- 304 : ya or poro epuynepus(?)  
(?)
- 305 : u siran ki ko  
そうすると
- 306 : hokurekure  
さあさあ
- 307 : wakkata yan ari  
水を汲みなさいと
- 308 : iki-an kor  
私が言いながら
- 309 : a-utari utan nakka  
私の部下にも
- 310 : a-sikasuyre  
私は手伝わせた
- 311 : ar a-wakkatare(?)  
私は水を汲ませた
- 312 : eonkami kor hosippa ki na  
拝みながら戻って行った
- 313 : toop wakkakor ko  
ずっと水を持って行くと
- 314 : eramusinne  
安心した
- 315 : Otamoy kari  
オタモイを通して
- 316 : toop paye wa  
ずっと行って
- 317 : oararisam  
しまった
- 318 : okake ta  
その後
- 319 : a-utarihi  
私の部下に
- 320 : a-pawetenke  
私は命令した

321 : usa amam tara

米俵も

322 : a-uni soyke

私の家の外へ

323 : a-rura ki wa

私達は運んで

324 : okay (?)

ある

325 : pakno tap ne

だけ

326 : onnep koraci

年寄りにふさわしく

327 : eeikaun kane

多く

328 : a-usaraye

私は分配した

329 : okay-an oro wa

私達はいて

330 : a-unihi

私達の家

331 : a-kousaraye a-usaraye

私は分配した、私が分配した

332 : siyamam ari

米で

333 : kantaci ari

糶で

334 : sakekar-an ma

私達は酒を造って

335 : kamuynomi-an na.

私達は髪祭りをした

336 : ari an

(「これでしまいだ」)

[テキスト5] 注釈

1 : 最初、演者が語りかけた時に、「ちょっとまって、これは36年4月3日、虻田の遠島タネさんの、プロビデンス号が虻田の沖に来た時のユーカラです」という男性の声が入っている。

4 : 中川 (1995 : 46) に、「iyaynumare たいしたもんだ、よくできる、すばらしい」とある。

5 : 句の終わりに *haw* のような音声が入る。他の箇所でもしばしば入れられるが、このテキストでは表記していない。

19 : 実際の発音は *ikiyan*。

33 : 句頭の *i* は無意味な要素か。要検討。

43 : 地名か。永田 (1984 : 197) に「*Op keshpe shir' etu* 槍端岬」とあるのと関係あるか。

45 : 地名か。永田 (1984 : 197) に「*Chipatui inne -i* 潰裂多キ処」とあるのと関係あるか。

46 : 実際には *sirepayan* のような発音。6

54 : 56行目まで激しく咳き込んで発音不明瞭。音声中断。

66 : 実際の発音は *inewampekusu* のようなもの。

不詳の形式だが、仮にこのように訳した。 *ne an pe kusu* とすべきかもしれない。

70 : 発音不明瞭。要検討。

77 : 実際の発音は *cip' enoye* のようなもの。

78 : 発音不明瞭。要検討。

82 : 不詳。

83 : 不詳。

98 : 咳き込んで発音不明瞭。途中で音声が途切れている。

103 : 不詳の形式だが一応このように訳した。

112 : 113行目とともに節なしで語られている。113行目の後、男性の「半分くらいわかる」という声が入り、音声が一時途切れる。

118 : 後に「これオッテナ下がった話だ」という語り手の音声が入る。

123 : 不詳。

133 : ここでは *epitta* ではなく、*opitta* と発音している。

148 : *mire* は「着せる」だが、「持たせる」という



意味にもなるのであろうか。要検討。  
 158 : 実際には sipiniyan のような発音。  
 160 : この個所はよくわからない。要検討。  
 180 : ikiyan のような発音。  
 183 : 184にかけてよくわからない個所。要検討。  
 187 : 不詳の形式。要検討。  
 190 : 不明の個所。  
 196 : 198にかけて咳き込んで発音不明瞭。  
 219 : 不明の個所。  
 224 : よくわからない個所。仮にこう訳してみた。  
 226 : 不明の個所。要検討。  
 230 : 不明の個所。要検討。  
 237 : 不明の個所。要検討。  
 238 : うまく聞き取れない。要検討。  
 241 : うまく聞き取れない。、要検討。  
 243 : このように聞こえるが解釈が困難である。要  
 検討。  
 246 : このあと、一時音声中断。そのあと、「馬鹿ゆ  
 った、いたざらゆったんだ。」という語り手の音  
 声が入っている。

251 : このように聞こえるが解釈困難。要検討。  
 259 : このように聞こえるが解釈困難。要検討。  
 261 : このように聞こえるが解釈困難。要検討。  
 266 : このように聞こえるが解釈困難。要検討。rep  
 tap ne のような形式である可能性もある。  
 268 : 服部 (1964) に「parkoyakoya どもる (幌別)」  
 とある。  
 272 : このように聞こえるが解釈困難。要検討。  
 290 : このように聞こえるが解釈困難。要検討。  
 291 : このように聞こえるが解釈困難。要検討。  
 296 : このように聞こえるが解釈困難。要検討。  
 298 : このように聞こえるが解釈困難。要検討。  
 304 : このように聞こえるが解釈困難。要検討。  
 311 : 最初の ar は不詳。要検討。  
 315 : 地名か。永田 (1984 : 195) に「Ota moi 沙潟」  
 とある。  
 324 : 発音不明瞭。okay の後に何か語が続くよう  
 であるが不明。  
 327 : 不詳。久保寺 (1992 : 57) に「eikaun すぐれ  
 てゐる」とあるので仮にこう訳してみた。

## [テキスト 5] 索引

a- (57) 6, 10, 14, 16, 21, 26, 35, 39, 44, 47,  
 54, 55, 56, 61, 65, 70, 72, 81, 108, 109, 112, 128, 132,  
 134, 144, 148, 154, 155, 162, 163, 165, 175, 195, 216,  
 222, 226, 231, 243, 245, 248, 249, 253, 280, 282, 284,  
 290, 309, 310, 311, 319, 320, 322, 323, 328, 330, 331,  
 331  
 a (1) 188  
 amam (4) 238, 275, 299, 321  
 -an (40) 11, 18, 19, 20, 37, 40, 41, 46, 51, 52,  
 58, 77, 104, 118, 119, 120, 121, 131, 139, 152, 157, 158,  
 172, 180, 209, 214, 223, 227, 232, 234, 235, 250, 254,  
 255, 273, 292, 308, 329, 334, 335  
 an (3) 42, 228, 336  
 anak (3) 110, 140, 243  
 anakne (2) 100, 200

anakun (1) 233  
 ani (2) 171, 251  
 anpa (1) 138  
 aokay (1) 169  
 apkor (1) 184  
 Aputa (4) 76, 79, 88, 90  
 ar (1) 311  
 ari (10) 34, 112, 152, 219, 246, 283, 307,  
 332, 333, 336  
 arino (1) 114  
 arki (4) 13, 41, 78, 131  
 as (2) 17, 34  
 awa (5) 11, 26, 65, 121, 198  
 ay (2) 53, 136  
 ayne (3) 16, 35, 86

ayneno	(2)	15, 204	hawe	(1)	193
aynu	(11)	14, 28, 35, 70, 173, 174, 211, 212, 231, 243, 284	hawehe	(1)	194
cararse	(1)	49	hekomo	(1)	157
ciki	(6)	128, 180, 209, 214, 269, 290	hemem	(4)	275, 276, 277, 278
cip	(9)	30, 38, 92, 124, 158, 177, 181, 200, 293	hene	(2)	238, 240
Cipatuinne	(1)	45	henoyenoye	(1)	16
cipenoye	(1)	77	herikasi	(1)	57
cipi	(1)	107	heyasi	(1)	47
cipihi	(2)	199, 248	hine	(1)	78
cipratkire	(1)	32	hokurekure	(3)	105, 135, 306
cipyapte	(1)	52	horepasi	(1)	203
cis	(4)	36, 75, 193, 207	hosippa	(1)	312
cise	(4)	149, 156, 160, 167	hoski	(1)	170
ciskoitak	(1)	221	hoskino	(1)	146
e-	(2)	105, 111	hotuye	(1)	153
eaykap	(1)	55	hure	(12)	7, 30, 91, 101, 176, 186, 257, 258, 258, 260, 267, 288
eci-	(2)	138, 150	huresisam	(1)	124
eeikaun	(1)	327	i-	(5)	31, 74, 130, 218, 283
en-	(1)	283	i	(3)	42, 208, 227
ene	(6)	19, 42, 98, 208, 227, 251	ikari	(2)	24, 25
eonkami	(1)	312	ikarietaye	(1)	37
eotara	(1)	184	ikariranke	(1)	31
ep	(1)	236	ikariratkire	(1)	80
eparkoyakoya	(1)	268	ike	(1)	289
epitta	(4)	150, 161, 189, 256	iki	(9)	11, 19, 53, 104, 113, 115, 180, 227, 308
eramusinne	(1)	314	ikici	(2)	217, 220
eranpewtek	(2)	21, 56	ineanpe	(1)	66
erayap	(1)	61	inkar	(7)	47, 58, 89, 97, 119, 120, 255
erok	(1)	188	ipe	(1)	20
etoko	(1)	103	iperusuy	(1)	5
etop	(2)	186, 257	iruska	(1)	68
eyaomare	(1)	206	itak	(6)	152, 208, 209, 214, 286, 290
eyererope	(1)	1	itasare	(1)	242
eyoko	(1)	178	iyaynumare	(1)	4
hattoho	(1)	73	ka	(5)	55, 181, 182, 196, 244
haw	(1)	34	kamuynomi	(1)	335

kamyasi (1)	185	koyap (1)	74
kane (3)	122, 170, 327	ku (1)	137
kantaci (1)	333	kuni (1)	72
kap (1)	183	kurka (1)	205
kar (2)	103, 283	kus (1)	44
kari (2)	117, 315	kuski (2)	148, 235
kasiketa (1)	188	kustap (1)	10
katu (1)	41	kusu (12)	6, 29, 52, 66, 68, 103, 104, 116, 120, 144, 226, 279
kaya (1)	126	kuwasi (3)	239, 277, 301
kayani (3)	59, 62, 69	kuwaso (3)	87, 113, 115
kayaratkire (1)	93	ma (7)	19, 40, 46, 131, 157, 223, 334
kayki (1)	50	mak (1)	131
kemekot (1)	234	manu (1)	5
kesupi (1)	183	mire (1)	148
kewtum (1)	287	mosir (1)	9
ki (28)	6, 10, 26, 33, 37, 47, 65, 74, 94, 110, 154, 162, 191, 197, 198, 217, 220, 222, 226, 249, 274, 281, 285, 297, 303, 305, 312, 323	mosit (1)	224
kici (3)	16, 81, 289	mosma (1)	298
kinra (1)	129	na (11)	95, 112, 148, 197, 228, 235, 244, 259, 281, 312, 335
kira (2)	16, 40	nakka (4)	69, 71, 236, 309
ko (11)	99, 110, 168, 220, 222, 255, 280, 292, 297, 305, 313	nam (1)	54
ko (3)	29, 199, 225	nankon (2)	95, 112
kocipayaya (1)	187	nankor (1)	241
kohetari (1)	130	nanpo (1)	258
kopak (1)	76	nay (1)	54
kor (10)	34, 70, 144, 152, 154, 155, 195, 213, 308, 312	naypo (1)	48
koraci (6)	216, 245, 271, 272, 282, 326	ne (19)	5, 10, 29, 92, 99, 104, 129, 154, 189, 195, 238, 241, 251, 266, 271, 274, 298, 302, 325
kore (1)	283	nep (6)	29, 116, 199, 225, 244, 266
korek (2)	243, 259	neun (2)	89, 97
korpare (1)	218	nise (2)	54, 72
kot (1)	101	nispa (1)	211
kotan (5)	7, 8, 22, 27, 213	nokan (1)	200
kotanuhu (1)	111	nu (2)	195, 253
kousaraye (1)	331	nuci (1)	222
kowen (4)	14, 28, 35, 231	nukar (1)	128
		numikir (2)	173, 174

o	(4)	1, 163, 300, 301	poronno	(3)	143, 279, 302
oararisam	(1)	317	pu	(1)	219
oka	(1)	33	pun	(1)	219
okake	(1)	318	punkasi	(1)	54
okay	(8)	95, 98, 127, 185, 256, 279, 324, 329	ra	(3)	118, 139, 172
okayci	(1)	191	rametok	(1)	166
omare	(1)	39	rapoke	(1)	164
onne	(1)	326	rapte	(1)	162
op	(7)	142, 145, 147, 161, 169, 171, 178	ratkire	(2)	24, 126
opittano	(1)	133	ray	(1)	235
Opkesmosir	(1)	43	re	(1)	174
or	(8)	27, 38, 87, 113, 115, 163, 177, 304	rep	(5)	79, 90, 107, 250, 254
oro	(6)	50, 159, 247, 262, 291, 329	repke	(2)	44, 127
Osamanpe	(2)	22, 27	repkehe	(2)	23, 31
osura	(1)	25	reppis	(4)	64, 202, 265, 295
ot	(3)	45, 140, 156	rok	(3)	47, 58, 81
ota	(1)	196	roski	(1)	60
Otamoy	(1)	315	rura	(1)	323
ottena	(5)	67, 88, 96, 212, 213	rusuy	(2)	51, 253
p	(5)	5, 216, 245, 251, 282	ruwe	(1)	60
pa	(1)	260	ruwesan	(1)	117
pakno	(2)	236, 325	sake	(3)	240, 276, 300
para	(3)	161, 171, 178	sakekar	(1)	334
parka	(1)	160	san	(1)	146
paskur	(1)	183	sanota	(1)	205
patek	(1)	16	sap	(4)	118, 121, 139, 172
pawetenke	(3)	106, 134, 320	sapa	(1)	182
paye	(5)	84, 85, 250, 254, 316	sapte	(1)	249
pe	(2)	146, 256	saranpe	(1)	278
pencay	(1)	125	sikasuyre	(1)	310
Pepe	(1)	67	sintoko	(1)	300
pewtanke	(1)	194	sinu	(1)	190
pirka	(2)	59, 281	sipini	(1)	158
pirkanu	(2)	210, 215	siran	(1)	305
pirkasikan	(1)	252	sirepa	(1)	46
piskan	(2)	12, 229	siri	(2)	33, 98
pon	(1)	48	sirki	(3)	86, 99, 269
poro	(3)	125, 153, 304	sisam	(10)	7, 30, 91, 101, 176, 260, 263, 267,

270, 288		tuye	(1)	62
siturare	(1)	175	un	(10) 27, 67, 76, 87, 88, 107, 113, 115, 155, 177
siyamam	(1)	332	uni	(1) 322
so	(1)	163	unihi	(1) 330
somo	(2)	110, 228	usa	(1) 321
somoki	(1)	244	usaraye	(2) 328, 331
sone	(2)	286, 287	usayne	(1) 122
soy	(2)	149, 167	usi	(1) 20
soyke	(1)	322	utan	(1) 309
surku	(5)	136, 141, 142, 145, 147	utar	(6) 27, 101, 166, 267, 270, 288
suwop	(1)	301	utari	(1) 309
ta	(27)	12, 23, 31, 45, 50, 55, 79, 90, 116, 118, 127, 131, 139, 140, 149, 156, 164, 167, 172, 181, 182, 196, 229, 250, 254, 262, 318	utarihi	(4) 105, 132, 165, 319
tan	(1)	107	utarpa	(2) 259, 260
tane	(1)	233	uwante	(2) 8, 9
tanun	(1)	84	uwekarpa	(2) 151, 168
tap	(14)	29, 92, 99, 104, 154, 189, 195, 228, 266, 271, 274, 298, 302, 325	uwoeusi	(1) 160
tara	(2)	299, 321	wa	(37) 7, 39, 44, 47, 49, 54, 58, 61, 74, 81, 94, 97, 106, 114, 115, 138, 159, 162, 191, 203, 215, 217, 226, 232, 234, 242, 247, 249, 253, 274, 283, 285, 291, 303, 316, 323, 329
tasa	(1)	114	wakka	(3) 71, 242, 280
tasare	(1)	280	wakkakor	(1) 313
tasuy	(3)	143, 159, 247	wakkasak	(5) 17, 18, 223, 232, 273
tekuwesirusiru	(1)	192	wakkata	(3) 51, 293, 307
tono	(6)	87, 113, 115, 238, 239, 240	wakkatare	(1) 311
tonun	(1)	85	wen	(2) 73, 129
toop	(2)	313, 316	wente	(1) 112
toykopatu	(1)	109	ya	(2) 190, 304
toykowente	(1)	108	yakka	(1) 53
tu	(1)	173	yan	(4) 151, 210, 218, 307
tumi	(1)	244	yap	(3) 204, 292, 303
tumicip	(1)	102	yapci	(1) 297
tumihi	(1)	225	yapte	(1) 102
tuppis	(4)	63, 201, 264, 294	yayan	(2) 263, 270
tura	(1)	242	ye	(5) 216, 245, 282, 284, 290
turano	(4)	36, 75, 137, 207	yokoyoko	(1) 179
turasi	(2)	13, 224		
turi	(1)	291		

## Some Linguistic Properties of the Date Dialect of Ainu

SATO Tomomi

### Summary :

Based upon the analysis of the five texts recorded in old tapes, the author mainly points out the following interesting properties of the Date Dialect of Ainu:

1) This dialect presents a peculiar complex aspectual form *kor okay wa okay* assumed to be the sequence of the progressive and the resultative aspect, which is not known in other dialects.

2) This dialect shares a peculiar morphophonemic phenomenon with the Horobetsu dialect: while the first person objective plural *i-* requires the epenthetic glide *-y-* before the following vowel, the reflexive *si-* does not.

### Key words :

Ainu, the Date dialect, text of oral literature